

北朝鮮によるミサイル発射事案に関する住民の意識・行動等についての調査

(住民アンケート調査)

調査結果

平成29年12月

【調査概要】

平成 29 年 8 月 29 日（火）及び 9 月 15 日（金）の北朝鮮による我が国の上空を通過する弾道ミサイルの発射に際しては、全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用して、国民の皆様へ情報提供したところです。今回、今後の国民保護施策の参考とさせていただくため、Jアラートにより弾道ミサイルに関する情報伝達が行われた 12 道県に居住されている住民の方々を対象に、当日の意識・行動等についてアンケート調査を実施しました。

●調査方法

Jアラートにより情報伝達が行われた以下の 12 道県 617 市町村に調査を依頼し、市町村役場の窓口を訪れた方（原則として市は男女各 2 人、町村は男女各 1 人）の中から任意で選定した方にアンケート調査にご協力をいただき、ご回答いただきました。

Jアラート送信地域：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、
栃木県、群馬県、新潟県、長野県

●調査実施時期と回答状況

○調査実施時期

8 月 29 日の事案：9 月 12 日～22 日

9 月 15 日の事案：9 月 20 日～29 日

○回答状況

8 月 29 日の事案：12 道県 615 市町村 1,645 人（回答率 99.6%）

9 月 15 日の事案：12 道県 614 市町村 1,649 人（回答率 99.8%）

<平成 29 年 8 月 29 日の事案の概要について>

5 : 5 8 頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射。

6 : 0 2 頃 発射情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難してください。」

6 : 0 5 頃～0 7 頃 ミサイルが北海道渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を太平洋へ向けて通過。

6 : 1 4 頃 通過情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル通過。ミサイル通過。先ほど、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

<平成 29 年 9 月 15 日の事案の概要について>

6 : 5 7 頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射。

7 : 0 0 頃 発射情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難して下さい。」

7 : 0 4 頃～0 6 頃 ミサイルが北海道渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を太平洋へ向けて通過。

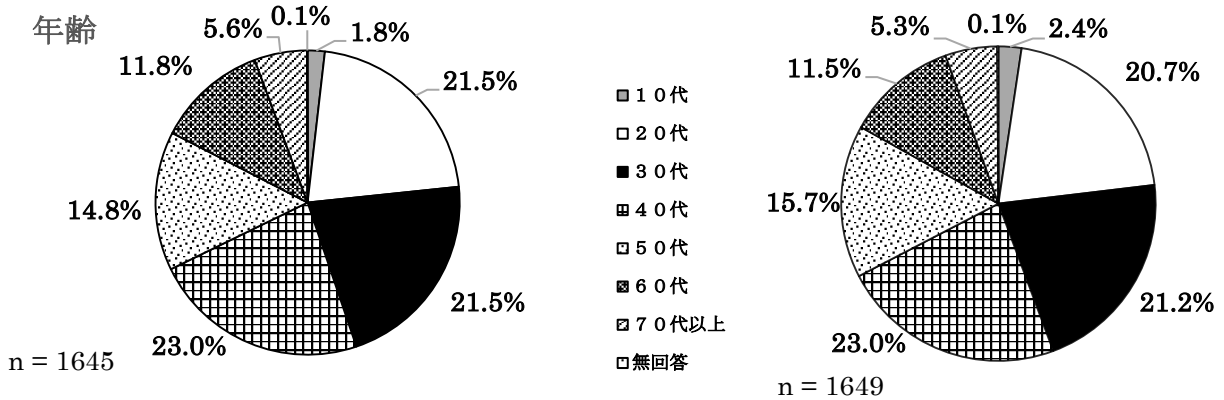
7 : 0 7 頃 通過情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

【調査結果】

〔 ・円グラフについては、左が8月29日の事案、右が9月15日の事案のアンケート結果です。
 ・棒グラフについては、上段が8月29日の事案、下段が9月15日の事案のアンケート結果です。〕

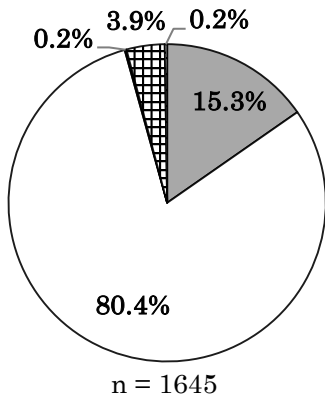
1 アンケート回答者について[問1]

性別

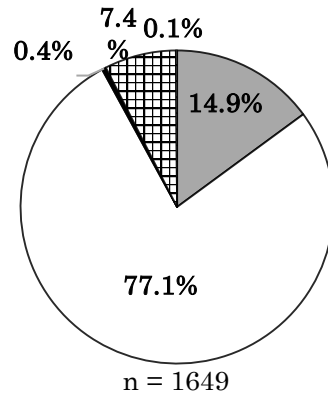


2 ミサイル発射情報が伝達された時の状況を教えてください。[問2]

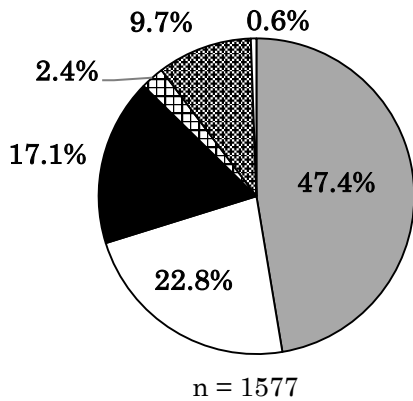
(1) どちらにいらっしゃいましたか？



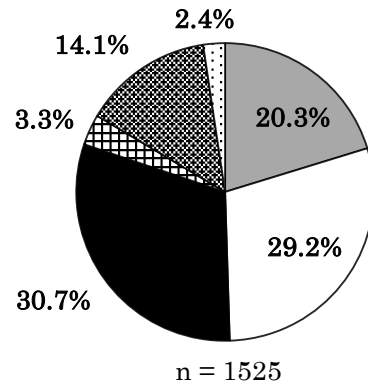
- 屋内（コンクリート造りなどの頑丈な建物）
- 屋内（上記以外の木造住宅等）
- 地下
- ▨ 屋外（地上）
- 無回答



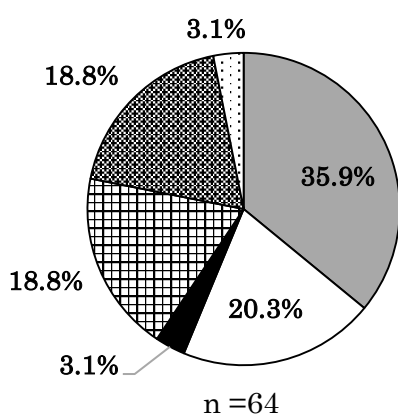
(2) (屋内・地下にいた方) そのとき、何をしていましたか？



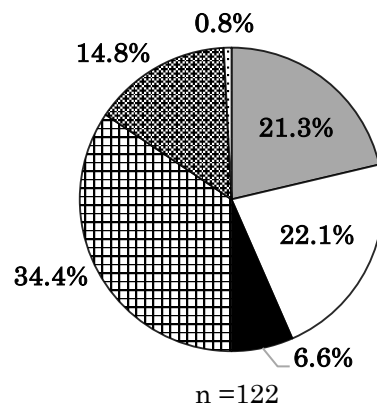
- 就寝していた
- 起きていたが、特段何もしていなかった
- テレビを見ていた
- ▨ 仕事をしていた
- ▨ その他
- 無回答



(3) (屋外にいた方) そのとき、何をしていましたか？



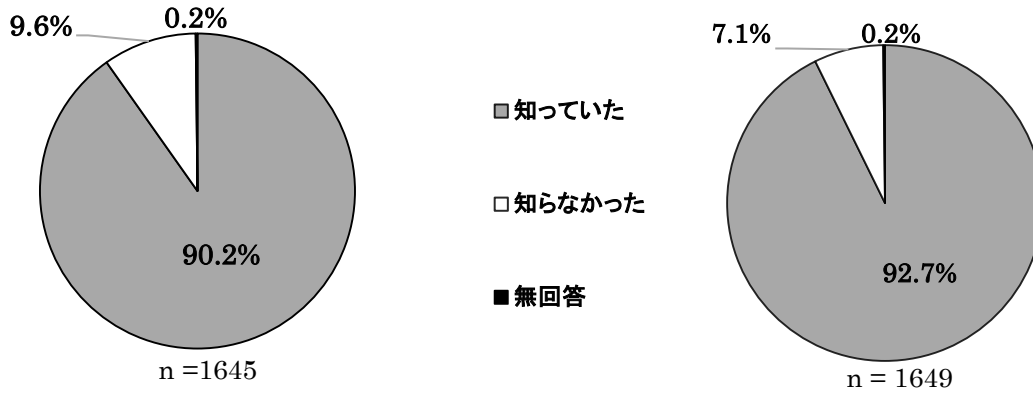
- 仕事をしていた
- 歩行中だった
- 電車・バス等の公共交通機関に乗っていた
- ▨ 車で移動中だった
- ▨ その他
- 無回答



ミサイル発射情報伝達時にいた場所については、両事案ともに「屋内」及び「地下」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は90%台半ば、9月15日の事案は90%台前半であった。また、「就寝していた」と回答した方は、8月29日の事案は40%台後半、9月15日の事案は約20%であった。

3 ミサイル発射情報について

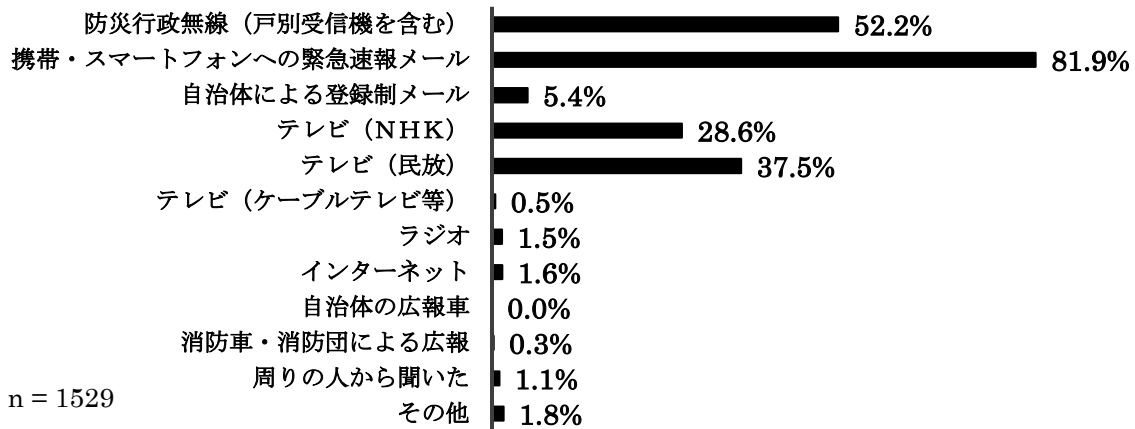
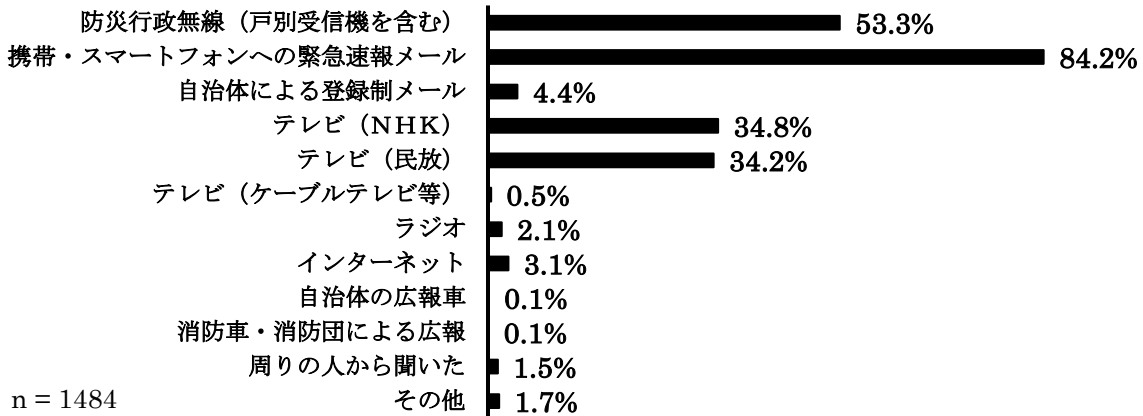
北朝鮮からのミサイル発射情報が伝達されましたが、その後、ミサイル通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知っていましたか？[問3]



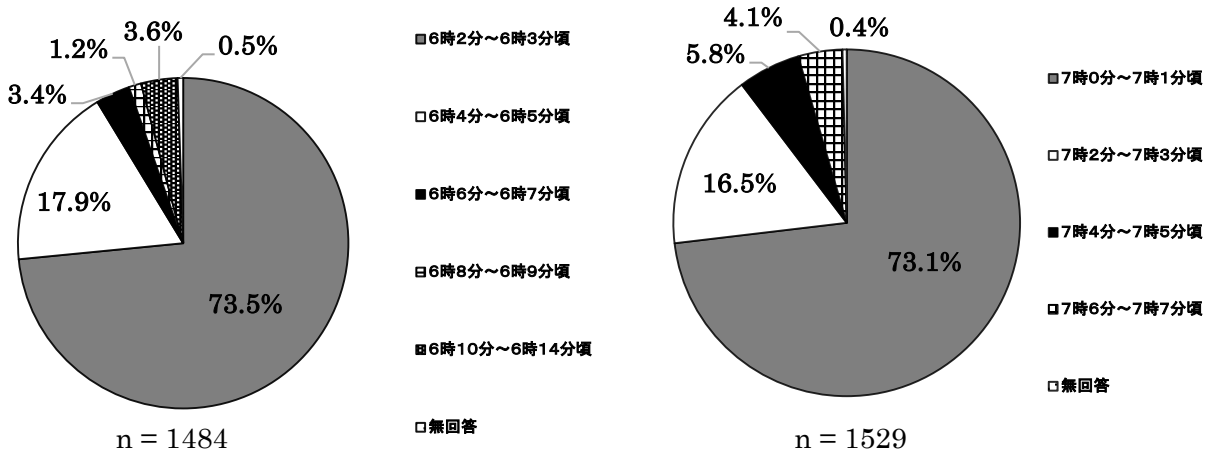
ミサイル発射情報については、伝達されてから通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを「知っていた」と回答した方が、8月29日の事案は約90%、9月15日の事案は90%台前半であった。

4 どのような手段で、いつ、ミサイル発射について知りましたか？ [問4]

(1) どのような手段で知りましたか？ (複数回答)



(2) いつ知りましたか？



ミサイルの発射を知った手段については、両事案ともに「携帯・スマートフォンへの緊急速報メール」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は80%台半ば、9月15日の事案は80%台前半であった。次いで、「防災行政無線 (戸別受信機を含む)」と回答した方が、両事案ともに50%台前半であった。

知った時間については、発射情報から約3分以内と回答した方 (8月29日の事案は「6時2分頃～3

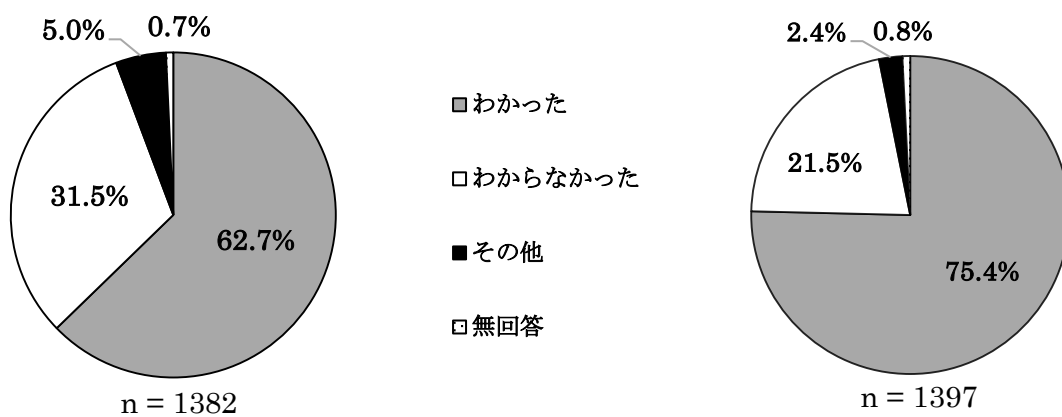
分頃」及び「6時4分頃～5分頃」を合算したもの、9月15日の事案は「7時0分頃～1分頃」及び「7時2分頃～3分頃」を合算したもの)が、8月29日の事案は90%台前半、9月15日の事案は約90%であった。

なお、ミサイルが日本の上空にさしかかる(8月29日の事案は6時5分頃、9月15日の事案は7時4分頃)までに発射されたことを知った方は、8月29日の事案は80%台前半(※)、9月15日の事案は約90%であった。

※…「6時4分～5分頃」の方は半分をカウント。

5 伝達された発射情報のメッセージについて

メッセージを聞いて、何をしたらよいかわかりましたか？[問5]



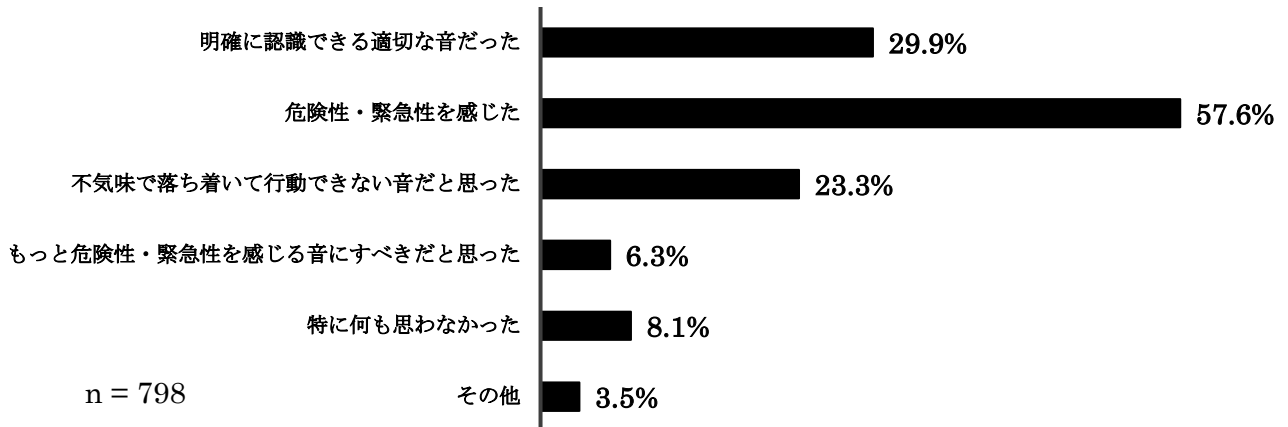
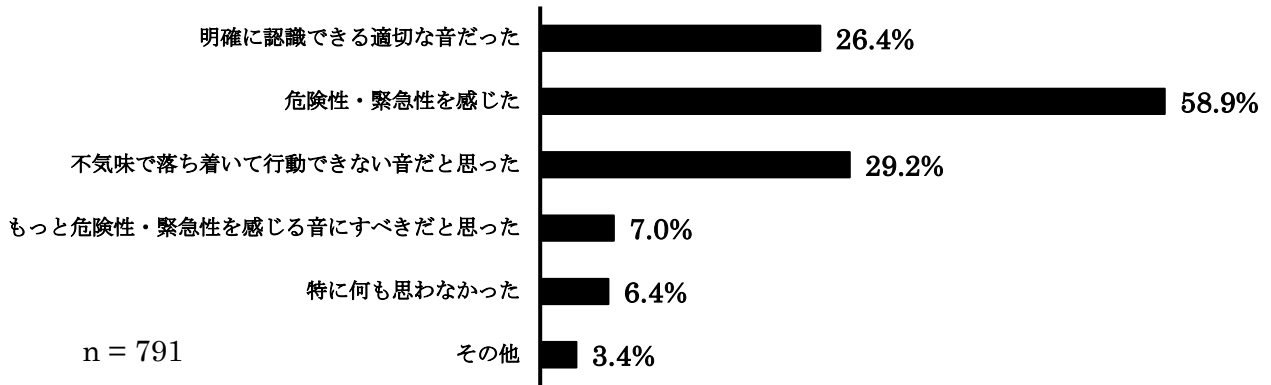
「わかった」と回答した方が、8月29日の事案は60%台前半であったが、9月15日の事案は13ポイント程度増加し70%台半ばであった。一方、「わからなかった」と回答した方は、8月29日の事案に比べ9月15日の事案においては10ポイント減少し、20%台前半であった。

「その他」の回答の中では、「分かったが避難する場所がなかった。」との回答が多くみられた。

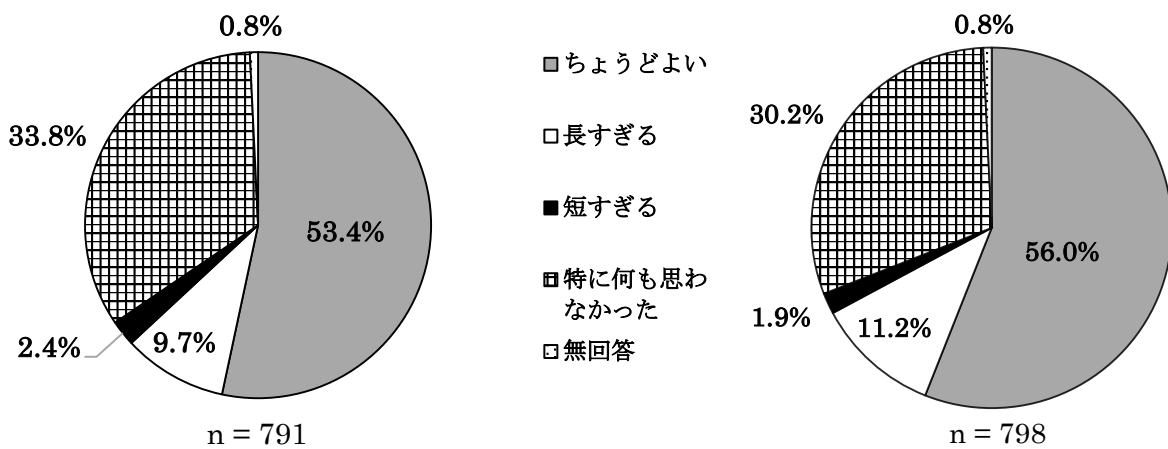
6 防災行政無線について

防災行政無線を聞かれた方に伺います。[問6]

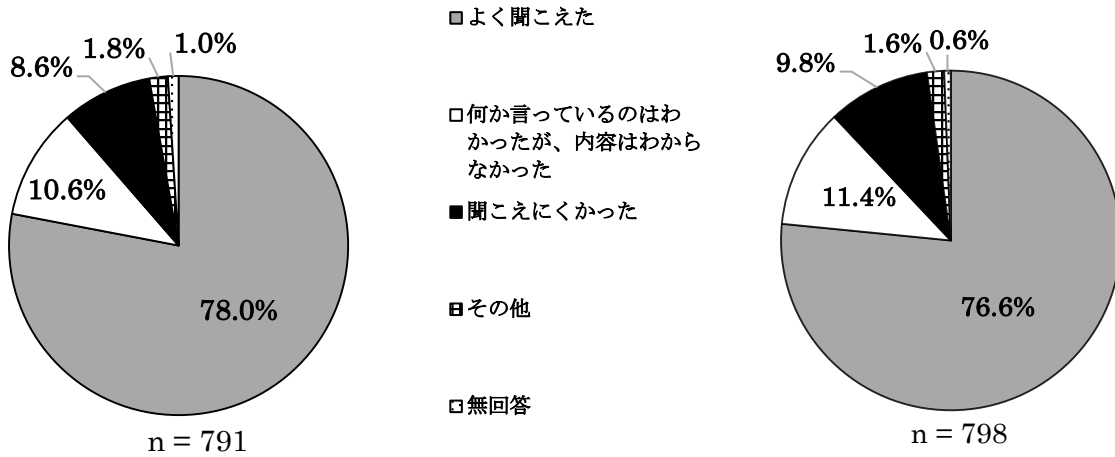
(1) サイレン音の音色について、どう思いましたか？（複数回答）



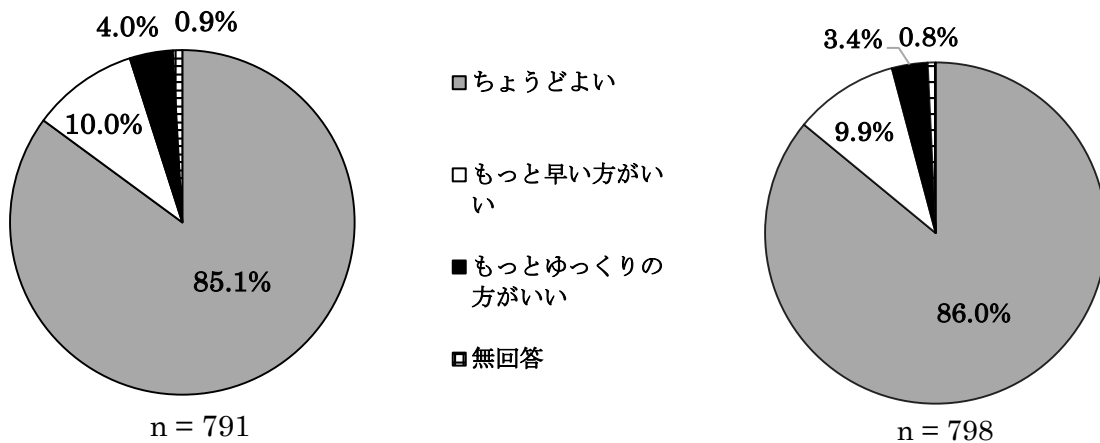
(2) サイレン音の流れる長さについて、どう思いましたか？



(3) 音声は聞き取れましたか？



(4) 音声の速度はどうでしたか？

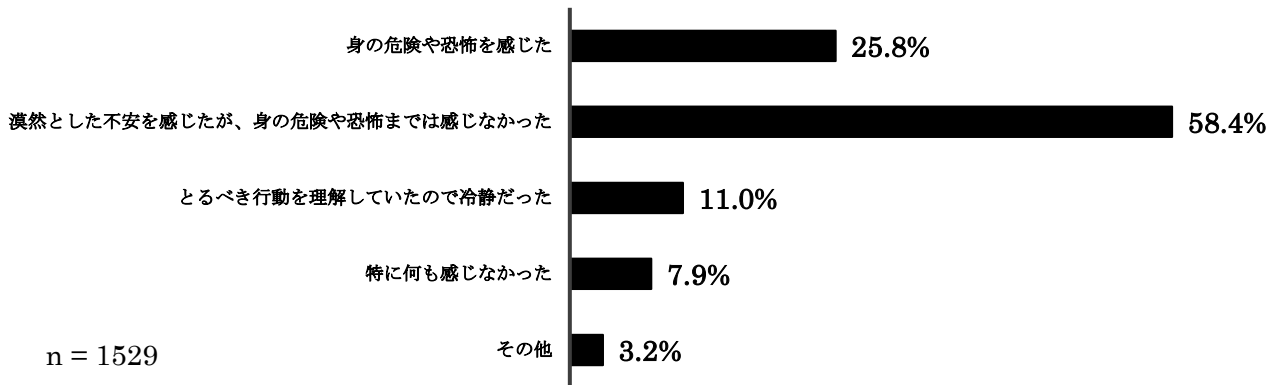
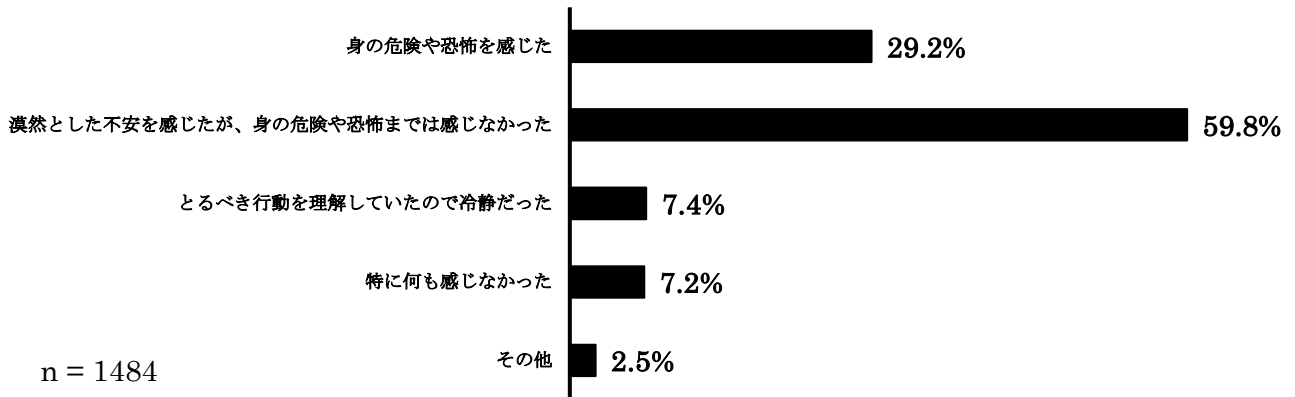


防災行政無線のサイレン音については、「危険性・緊急性を感じた」と回答した方が最も多く、両事案ともに50%台後半であった。次いで、「不気味で落ち着いて行動できない音だと思った」と回答した方が8月29日の事案は20%台後半、9月15日の事案は6ポイント程度減少し20%台前半であった。また、「明確に認識できる適切な音だった」と回答した方が、8月29日の事案は20%台後半、9月15日の事案は4ポイント程度増加し約30%であった。

音声については、「よく聞こえた」と回答した方が、両事案ともに70%台後半であり、速度についても「ちょうどよい」と回答した方が、8月29日の事案は80%台半ば、9月15日の事案は80%台後半であった。

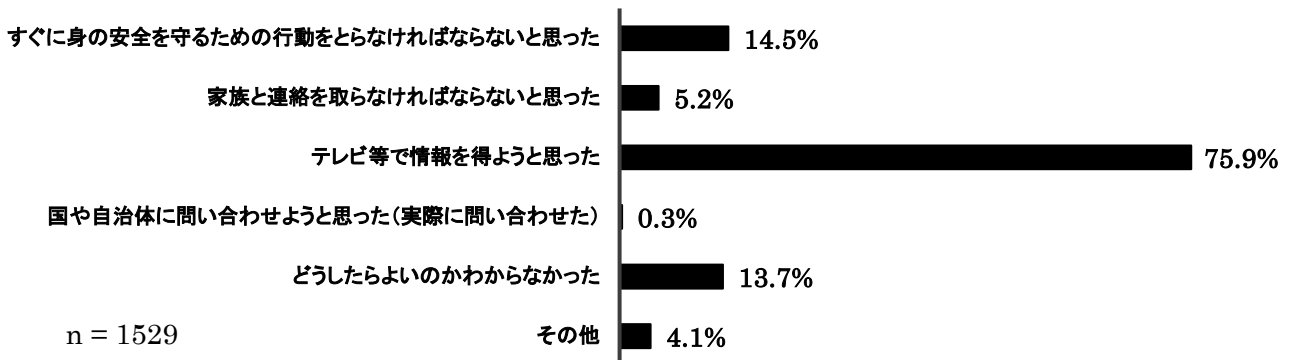
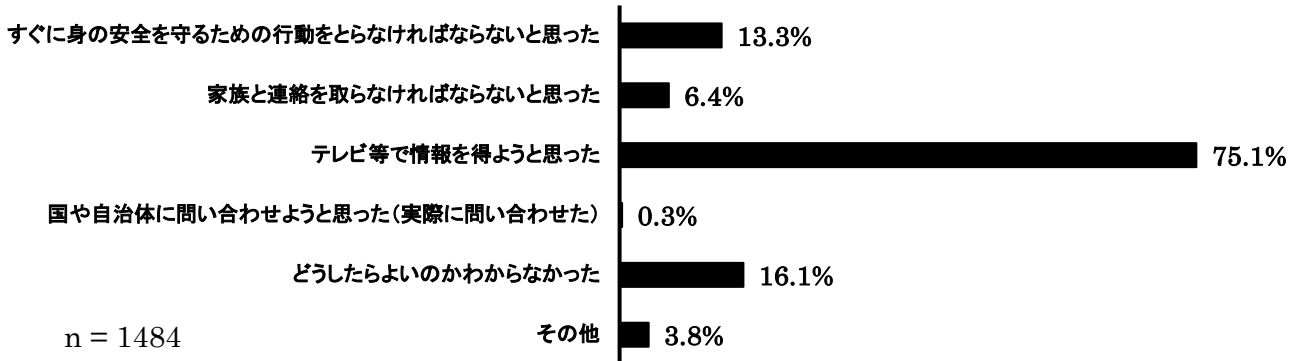
7 ミサイル発射を知った際どう思いましたか？[問7]

(1) 第一印象について（複数回答）



ミサイル発射を知った第一印象については、「漠然とした不安を感じたが、身の危険や恐怖までは感じなかった」と回答した方が、8月29日の事案は約60%、9月15日の事案は50%台後半と最も多かった。次いで、「身の危険や恐怖を感じた」と回答した方が、8月29日の事案は20%台後半、9月15日の事案は20%台半ばであった。

(2) その後について (複数回答)

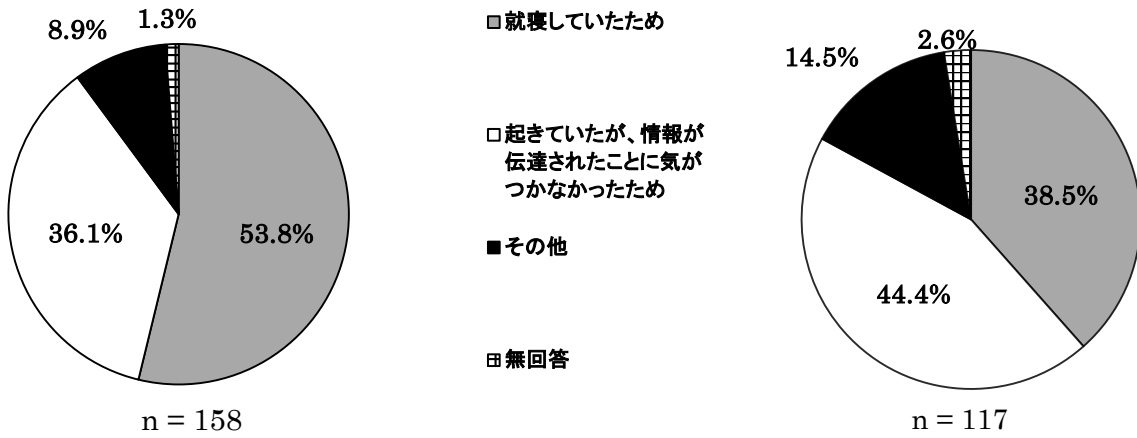


ミサイルの発射を知った後の行動については、「テレビ等で情報を得ようと思った」と回答した方が最も多く、両事案ともに70%台半ばであった。また、「すぐに身の安全を守るための行動をとらなければならないと思った」と回答した方は、8月29日の事案は10%台前半、9月15日の事案は10%台半ばであった。

一方、「どうしたらよいのかわからなかった」と回答した方が、8月29日の事案は10%台後半であったが、9月15日の事案は2ポイント程度減少し10%台前半であった。

8 ミサイル発射情報の伝達から、通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知らなかった方について

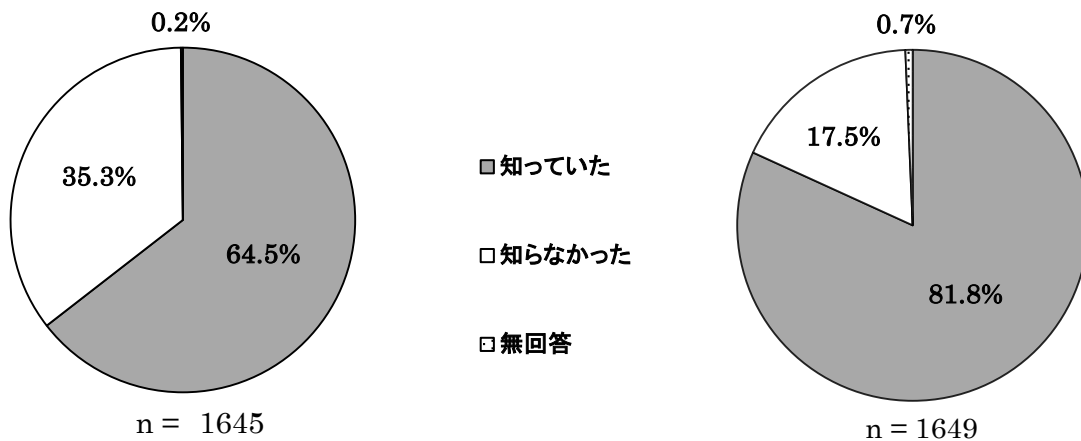
なぜミサイルが発射されたことを知らなかったのですか？[問8]



ミサイルが発射されたことを知らなかった理由については、「就寝していた」と回答した方が8月29日の事案は50%台前半であったが、9月15日の事案は30%台後半へと15ポイント程度減少した。また、「起きていたが、情報が伝達されたことに気がつかなかった」と回答した方は、8月29日の事案は30%台後半であったが、9月15日の事案は40%台半ばへと8ポイント程度増加した。

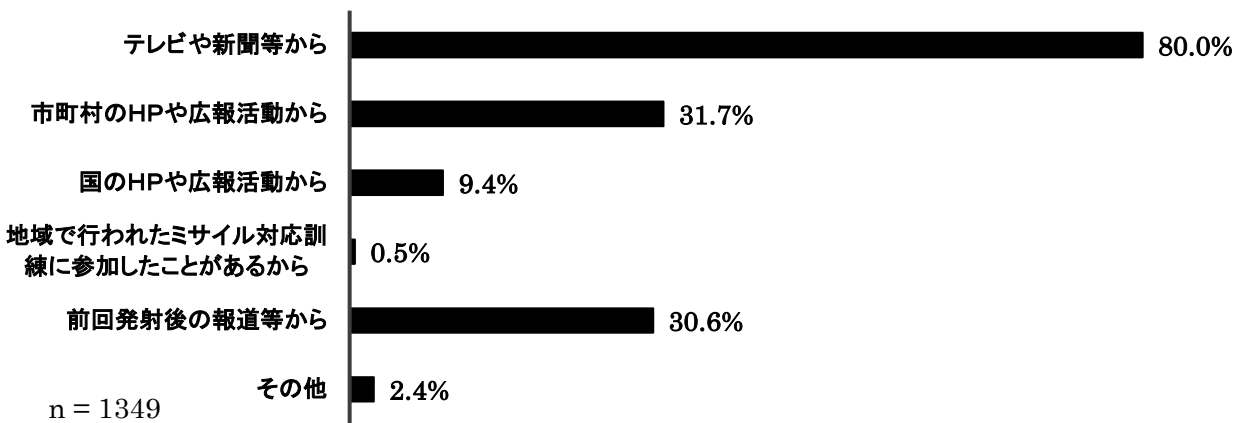
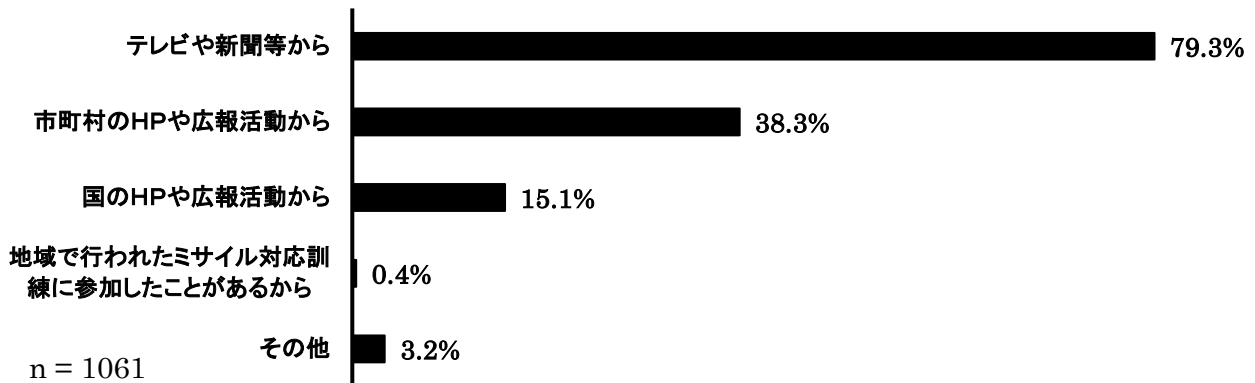
9 ミサイル発射情報の伝達を受けての避難等について

弾道ミサイル落下に備えてとるべき身の安全を守るための行動をご存知でしたか？[問9]



身の安全を守るためにとるべき行動については、「知っていた」と回答した方が、8月29日の事案は60%台半ばであったが、9月15日の事案は80%台前半へと17ポイント程度増加した。

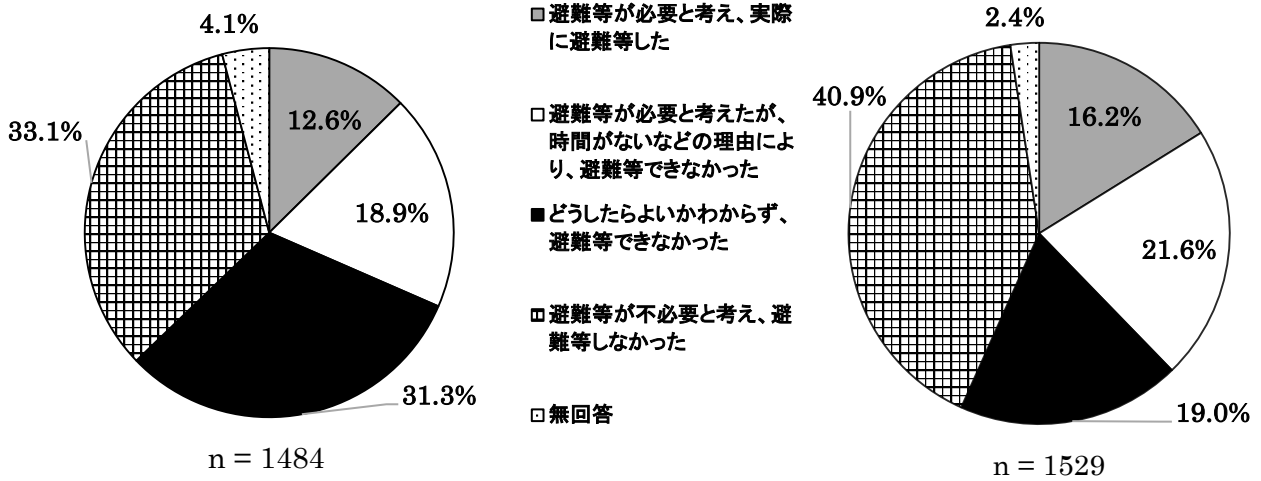
10 とるべき身の安全を守るための行動を知っていた方について
なぜご存知でしたか？（複数回答）[問10]



身の安全を守るためにとるべき行動については、両事案ともに「テレビや新聞等から」知ったと回答した方が最も多く、8月29日の事案は70%台後半、9月15日の事案は80%であった。次いで「市町村のHPや広報活動から」と回答した方が、それぞれ30%台後半、30%台前半であった。加えて、9月15日の事案においては、「前回発射後の報道等から」と回答した方が30%台前半であった。

1.1 ミサイル発射を知った後の行動について

避難等（その時にいた窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所にとどまることも含む。）をしましたか？[問 11]

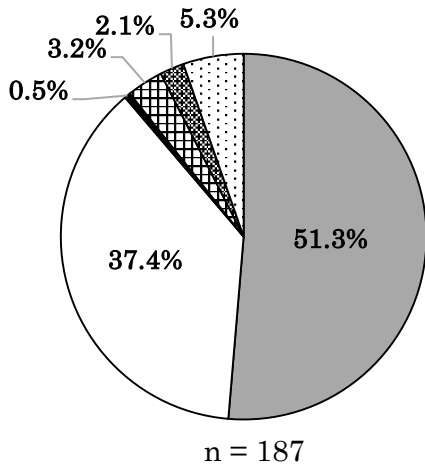


ミサイル発射を知った後の行動については、「避難等が必要と考えた」と回答した方が、8月29日の事案は30%台前半、9月15日の事案は30%台後半へと6ポイント程度増加した。

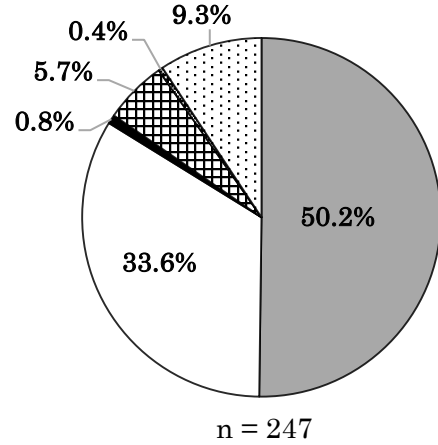
また、「避難等は不必要と考え、避難等しなかった」と回答した方は、30%台前半から40%台前半へと8ポイント程度増加した。一方、「どうしたらよいかかわからず、避難等できなかった」と回答した方は、8月29日の事案は30%台前半であったが、9月15日の事案の10%台後半へと12ポイント程度減少した。

12 どのように避難しましたか？[問12]

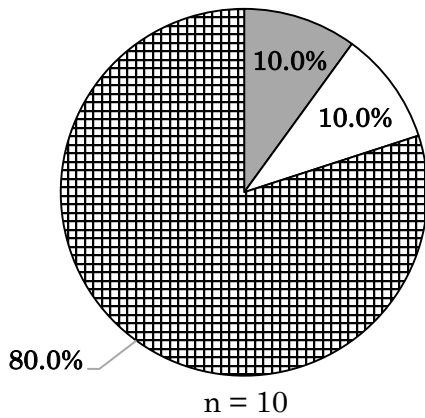
屋内・地下にいた方



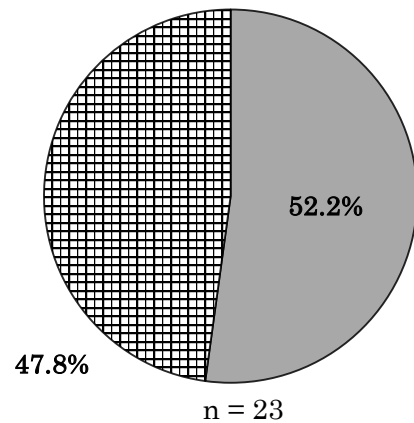
- そのときにいた場所から窓のない部屋(地下階を含む)又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した
- そのときにいた場所(窓のない部屋(地下階を含む)又は窓からできるだけ離れた場所)にとどまった
- そのときにいた建物から近くの頑丈な別の建物へ移動した
- ▨ そのときにいた場所(窓から近い場所)にとどまった
- ▩ その他
- 無回答



屋外にいた方



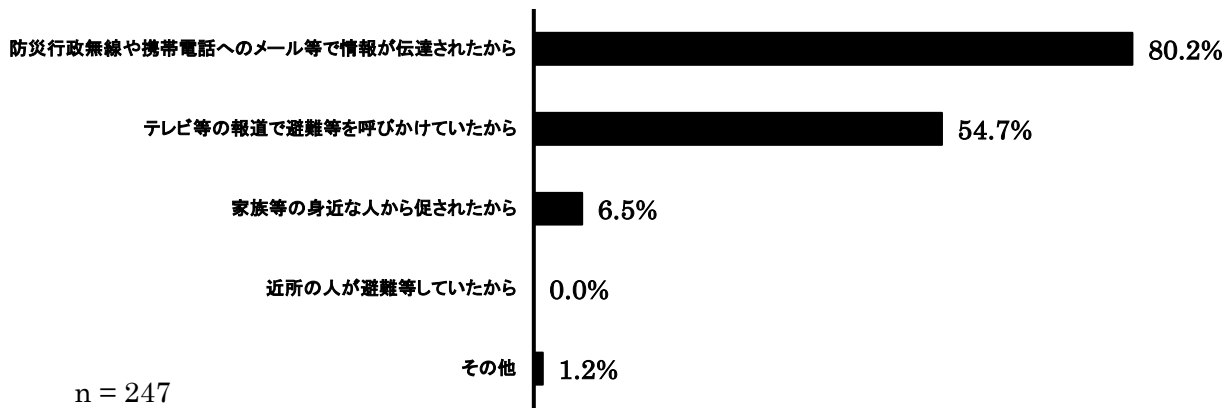
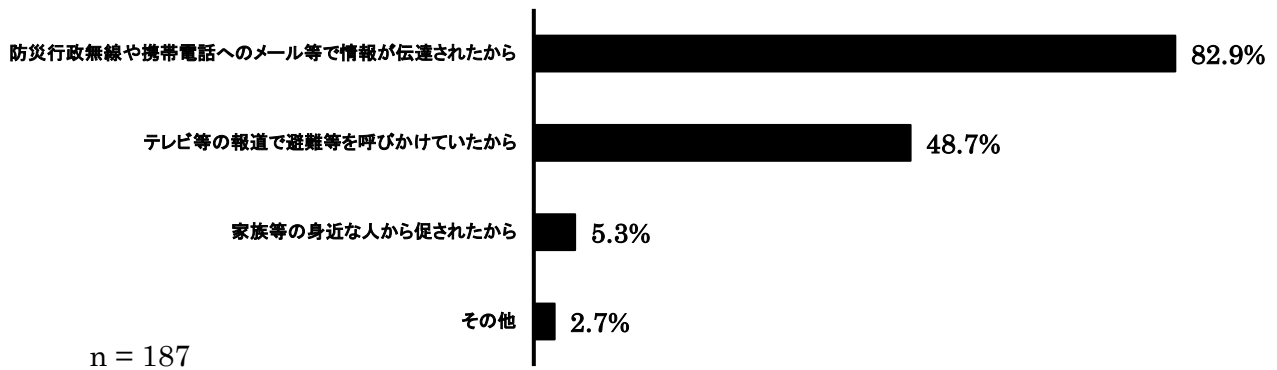
- 近くの頑丈な建物へ移動した
- 物陰に身を隠した
- ▩ 無回答



屋内・地下にいた方の避難行動については、「そのときにいた場所から窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した」及び「そのときにいた場所（窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所）にとどまった」と回答した方が、8月29日の事案は80%台後半、9月15日の事案は80%台前半であった。

1.3 避難等したきっかけについて

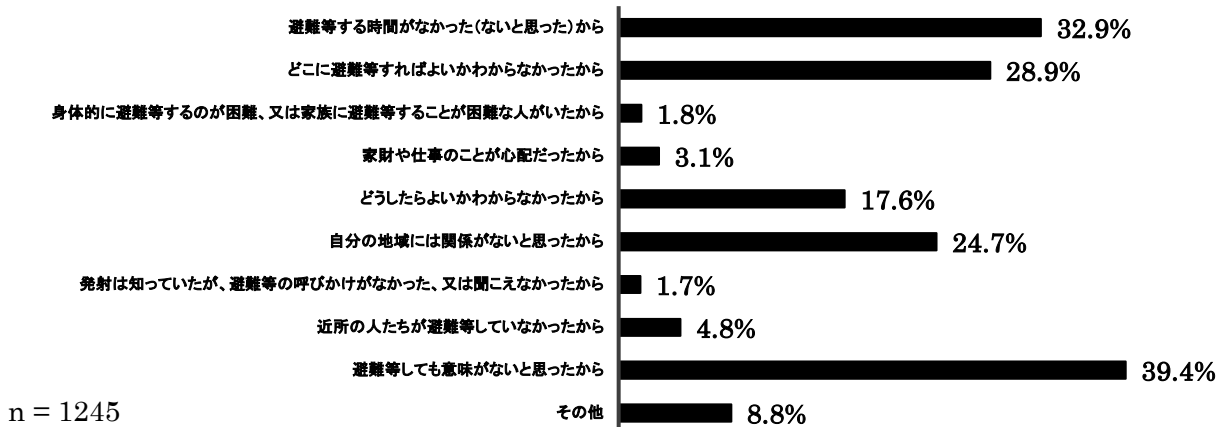
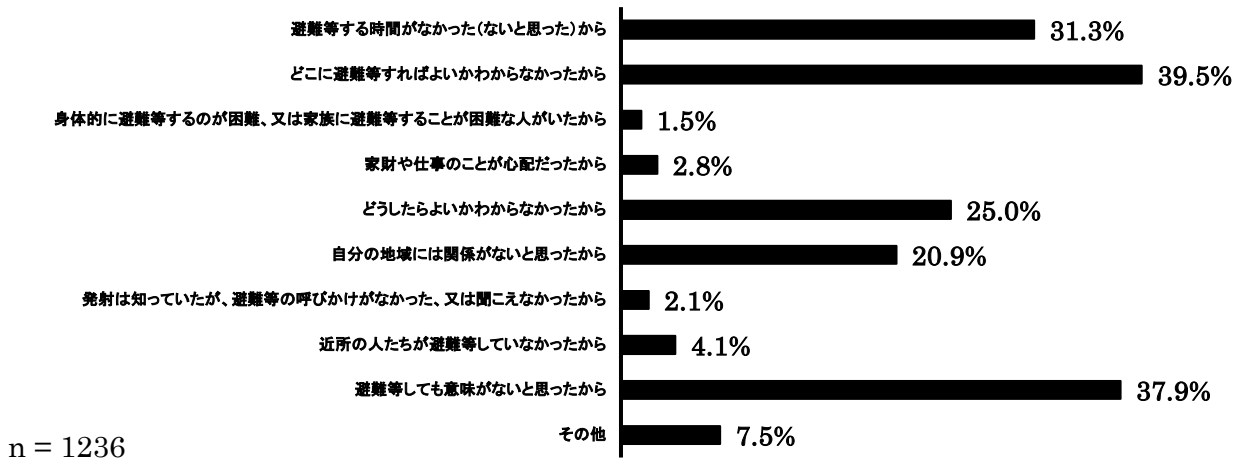
避難等したきっかけは何でしたか？（複数回答） [問 13]



避難等したきっかけについては、「防災行政無線や携帯電話へのメール等で情報が伝達されたから」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は80%台前半、9月15日の事案は約80%であった。次いで「テレビ等の報道で避難等を呼びかけていたから」と回答した方が、8月29日の事案は40%台後半、9月15日の事案は50%台半ばであった。

1.4 避難行動をとらなかったことについて

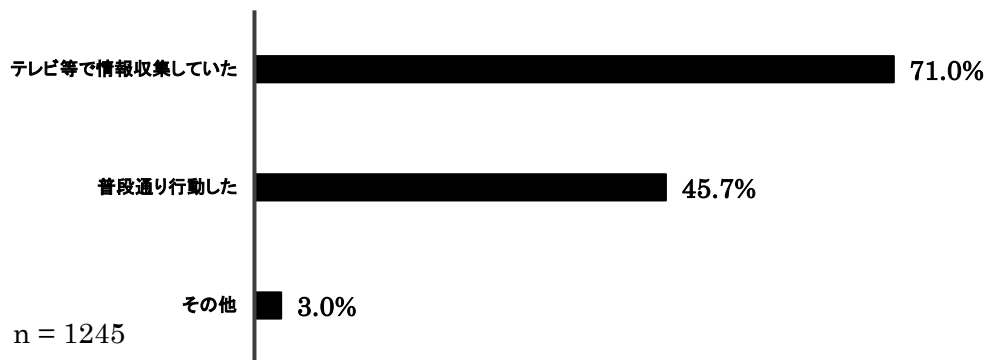
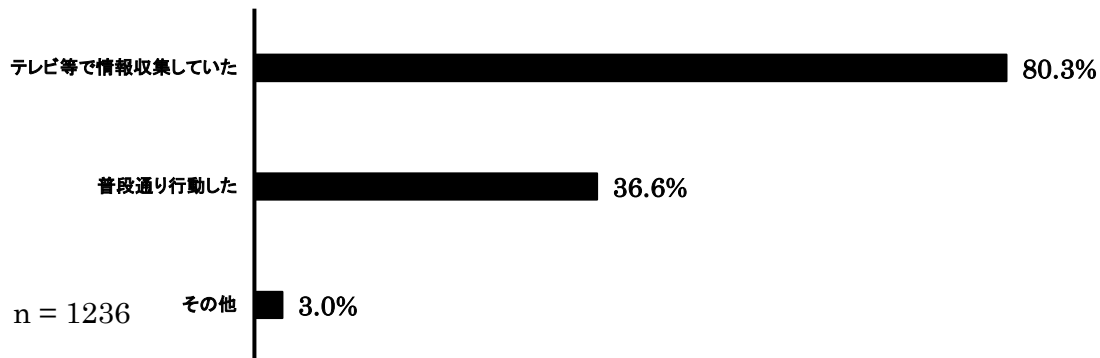
(1) なぜ避難できなかった(しなかった)のですか？(複数回答) [問 14]



避難行動を取らなかった理由については、8月29日の事案は「どこに避難等すればよいかわからなかったから」が最も多く約40%であったが、9月15日の事案は20%台後半へと11ポイント程度減少した。次いで「避難等しても意味がないと思ったから」と回答した方が、両事案ともに30%台後半であった。

また、「自分の地域には関係がないと思ったから」と回答した方が、20%台前半から20%台半ばへと4ポイント程度増加したものの、「どうしたらよいかわからなかったから」と回答した方が、20%台半ばから10%台後半へと7ポイント程度減少した。

(2) 避難等をせずに何をしていましたか？（複数回答） [問 15]



避難をせずに行っていた行動については、両事案ともに「テレビ等で情報収集していた」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は約80%であったが、9月15日の事案は70%台前半であった。また、「普段通り行動した」と回答した方が、30%台後半から40%台半ばへと9ポイント程度増加した。

15 ミサイル通過情報の伝達について

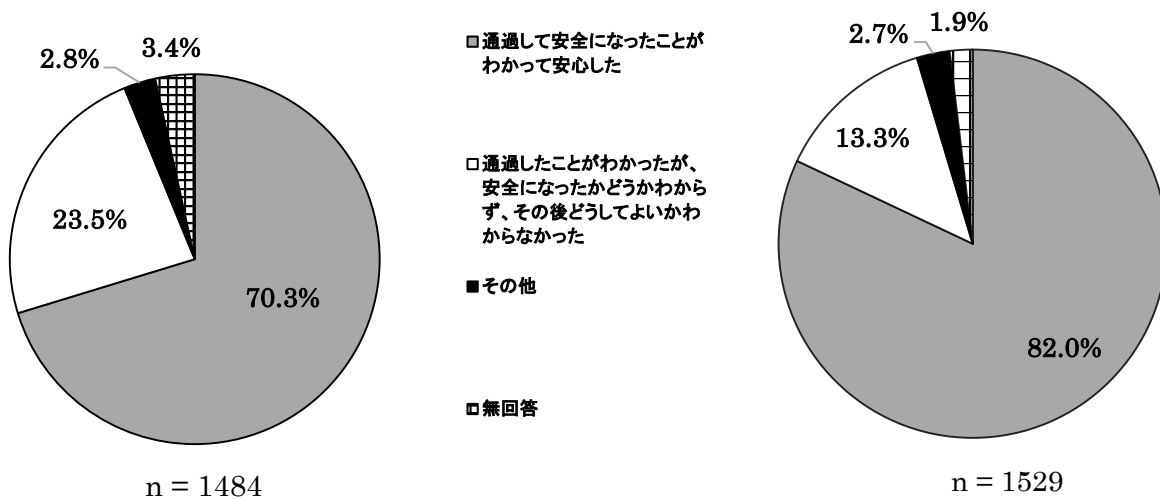
伝達された通過情報のメッセージについてどのように受け止めましたか？ [問 16]

< 8月29日に伝達された通過情報のメッセージ >

「ミサイル通過。ミサイル通過。先ほど、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

< 9月15日に伝達された通過情報のメッセージ >

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」



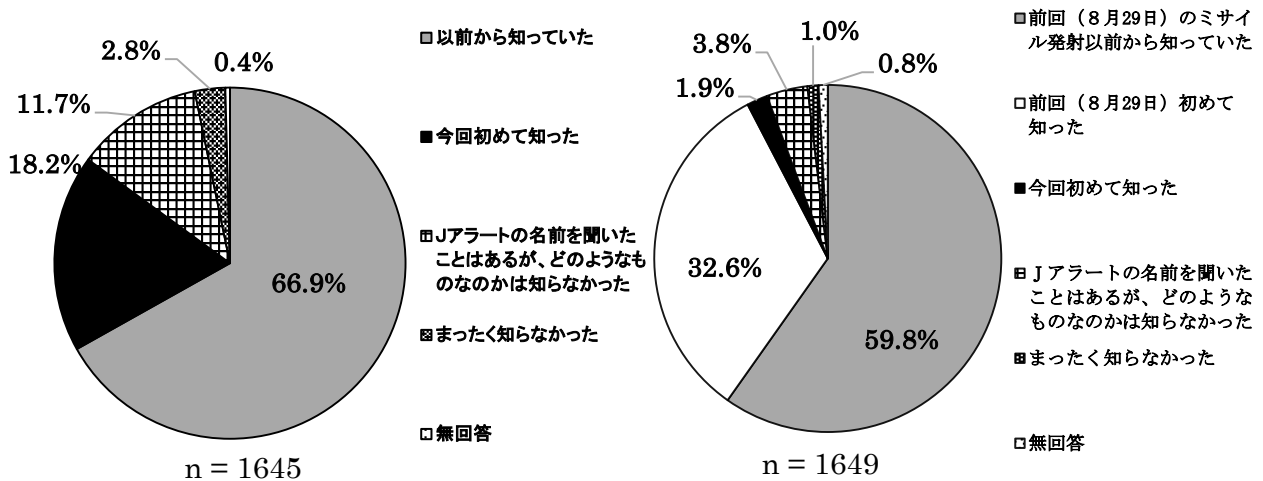
ミサイル通過情報については、通過情報を聞いて「通過して安全になったことがわかって安心した」と回答した方が、8月29日の事案は約70%であったが、9月15日の事案は80%台前半へと12ポイント程度増加した。また、「通過したことがわかったが、安全になったかどうかわからず、その後どうしてよいかわからなかった」と回答した方は、20%台前半であったが、10%台半ばに10ポイント程度減少した。

1.6 Jアラートについて

(1) ミサイルが発射されると、Jアラートにより情報が伝達されることをご存知でしたか？ [問 17]

<Jアラート（全国瞬時警報システム）とは？>

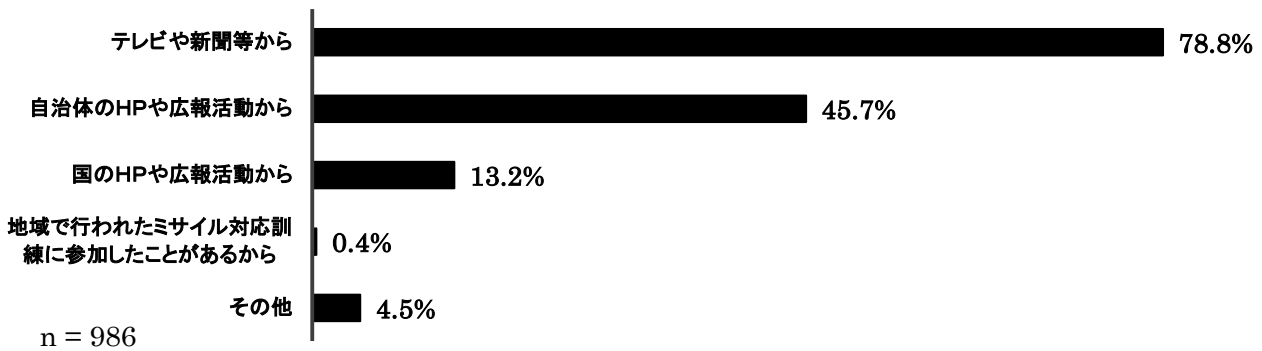
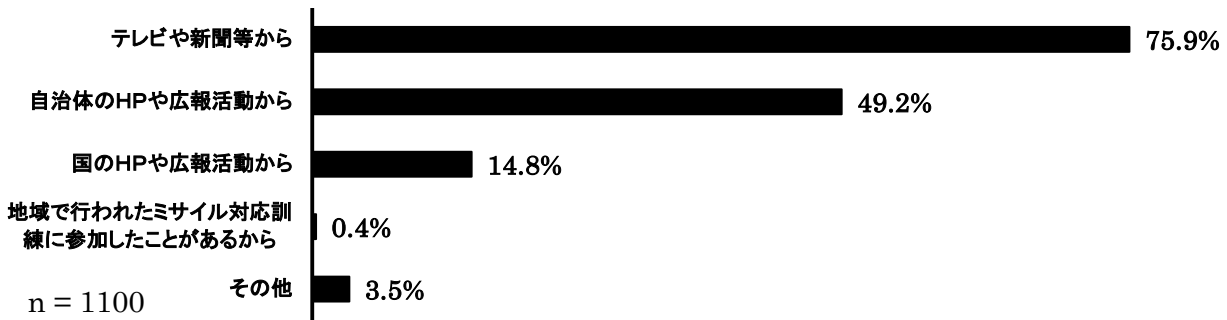
弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星及び地上回線を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村防災行政無線等を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム。



Jアラートについては、8月29日の発射時点では、「以前から知っていた」と回答した方が60%台後半であったが、9月15日の発射時点では、「前回（8月29日）のミサイル発射以前から知っていた」及び「前回（8月29日）初めて知った」と回答した方が90%台前半へと26ポイント程度増加した。

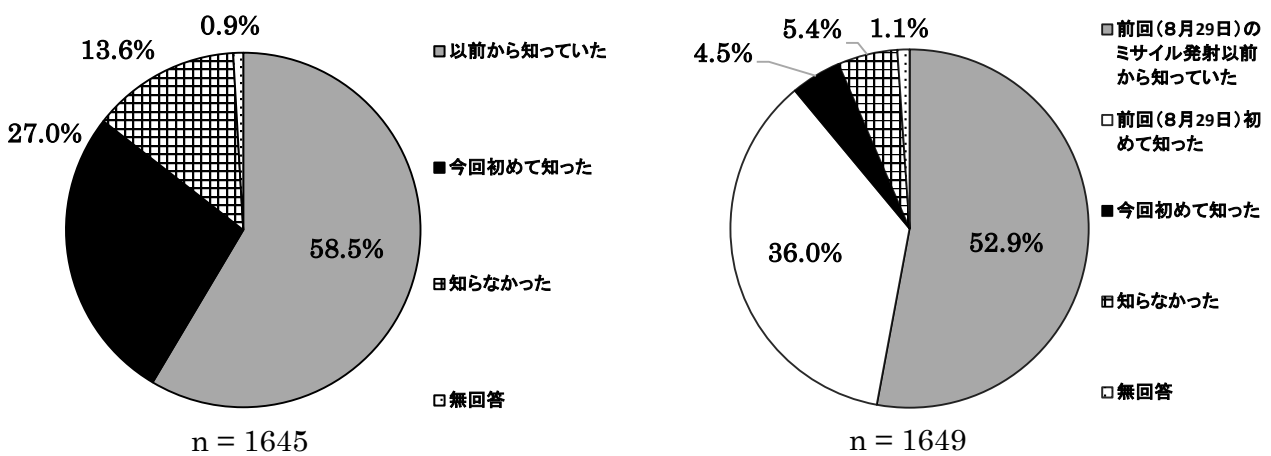
一方、「まったく知らなかった」と回答した方は、8月29日の事案は3%程度であったが、9月15日の事案は1%であった。

(2) (以前から知っていた方) なぜご存知でしたか? (複数回答) [問 18]



Jアラートを知っていた理由については、「テレビや新聞等から」と回答したが最も多く、8月29日の事案は70%台半ば、9月15日の事案は70%台後半であった。次いで「自治体のHPや広報活動から」と回答した方が、それぞれ40%台後半、40%台半ばであった。

(3) お住まいの地域でJアラートによる情報伝達がどのような手段(防災行政無線屋外スピーカー、自治体による登録制メール等)で行われるか、ご存知でしたか? [問 19]

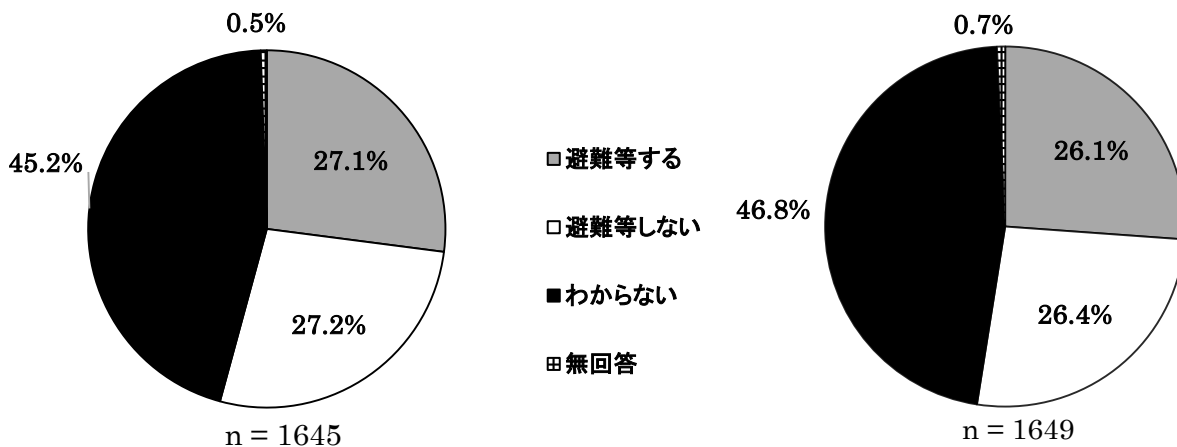


Jアラートによる情報の伝達手段については、8月29日の発射時点では、「以前から知っていた」と回答した方が50%台後半であったが、9月15日の発射時点では、「前回（8月29日）のミサイル発射以前から知っていた」及び「前回（8月29日）初めて知った」と回答した方が80%台後半へと30ポイント程度増加した。

一方、「知らなかった」と回答した方が、8月29日の事案は10%台前半であったが、9月15日の事案は5%台へと8ポイント程度減少した。

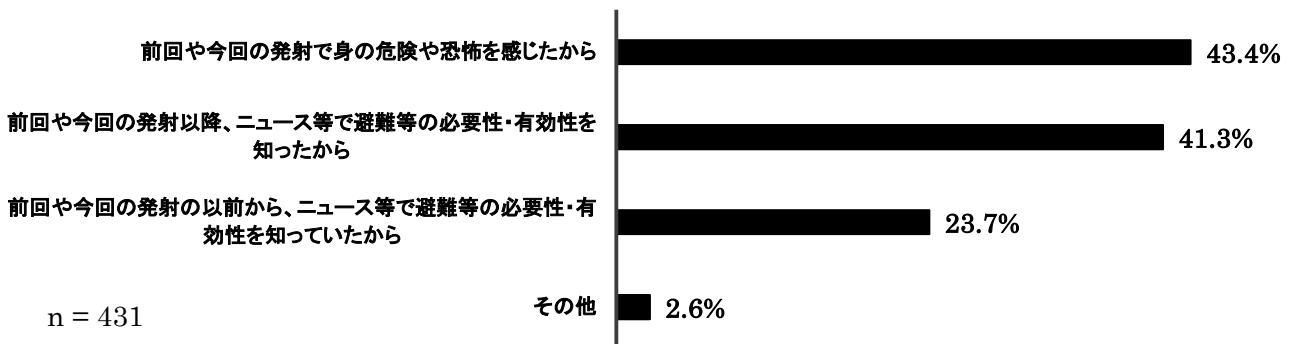
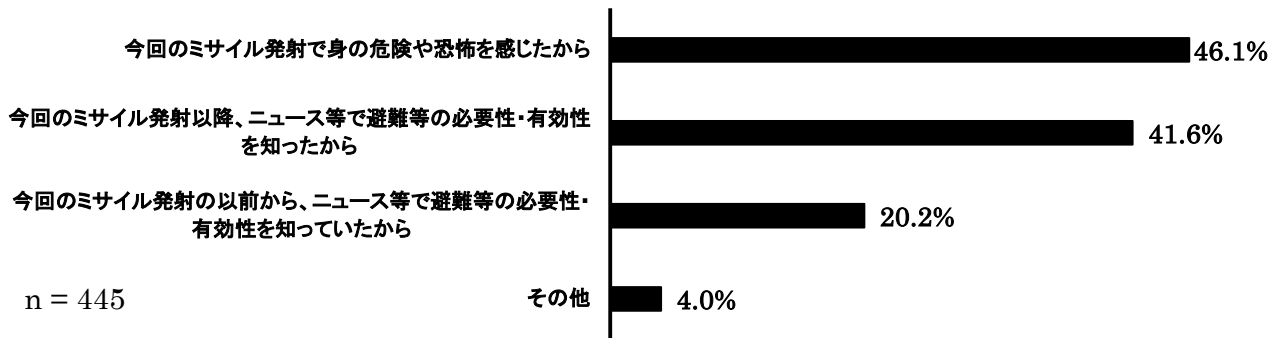
1.7 今後について

(1) 今後再びミサイル発射情報が伝達された際には避難等しますか？ [問 20]



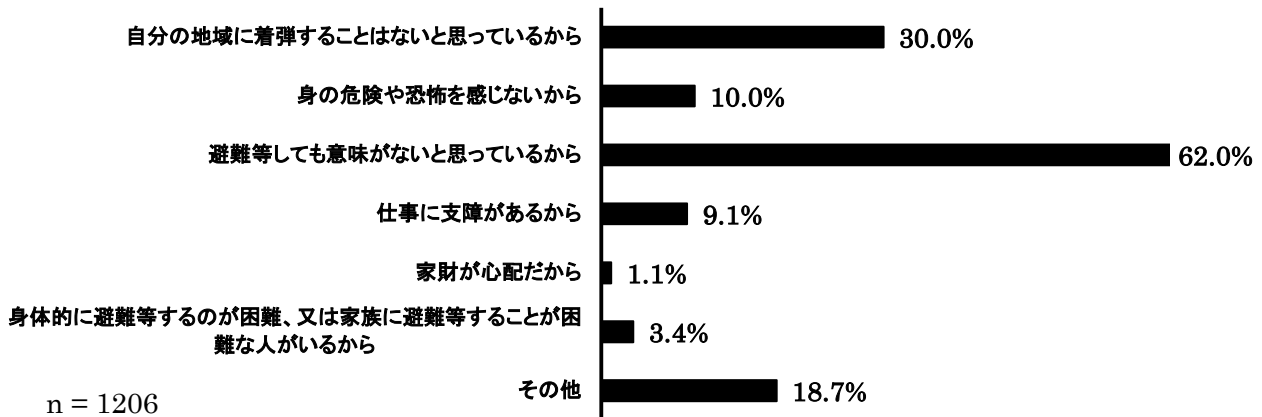
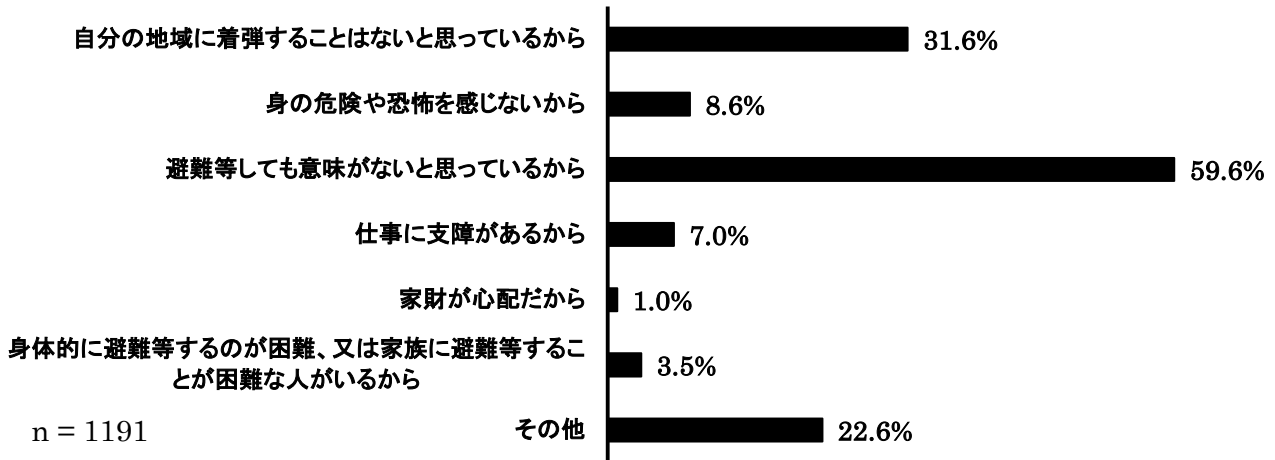
今後ミサイル発射情報が伝達された際の避難等については、両事案ともに「避難等する」、「避難等しない」と回答した方がそれぞれ20%台後半であり、また、「わからない」と回答した方が8月29日の事案は40%台半ば、9月15日の事案は40%台後半であった。

(2) (避難等すると回答した方) 避難しようと思われるのはなぜですか？ (複数回答) [問 21]



避難しようと思う理由については、「今回（前回や今回）のミサイル発射で恐怖を感じたから」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は40%台後半、9月15日の事案は40%台前半であった。次いで「今回（前回や今回）のミサイル発射以降、ニュース等で避難等の必要性・有効性を知ったから」と回答した方が、両事案ともに40%台前半であった。

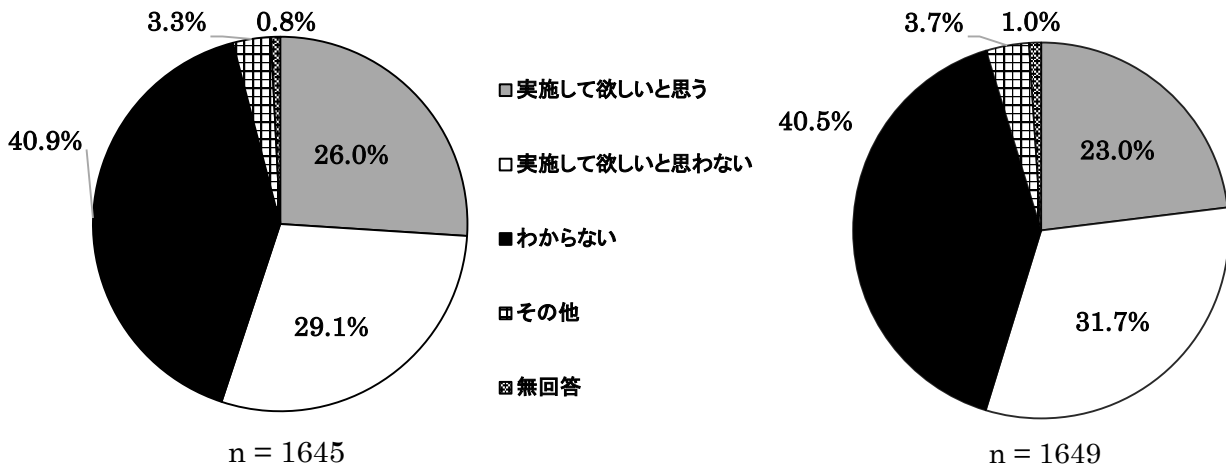
(3) (避難等しない、わからないと回答した方) 避難しようと思わないのはなぜですか？ (複数回答) [問 22]



避難しようと思わない理由については、「避難等しても意味がないと思っているから」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は約60%、9月15日の事案は60%台前半であった。次いで「自分の地域に着弾することはないと思っているから」と回答した方が、8月29日の事案は30%台前半、9月15日の事案は30%であった。

(4) 今後、自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練を実施して欲しいと思いますか？

[問 23]



自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練については、「実施して欲しいと思う」と回答した方が、8月29日の事案は20%台後半、9月15日の事案は20%台前半であった。また、「実施して欲しいと思わない」と回答した方は、8月29日の事案は20%台後半、9月15日の事案は30%台前半であった。また、「わからない」と回答した方が最も多く、両事案ともに40%台前半であった。

「その他」の中で多かった回答は、「訓練よりも、対応や避難場所を周知して欲しい」などがあつた。

北朝鮮によるミサイル発射事案に関する住民の意識・行動等についての調査

(インターネット調査)

調査結果

平成29年12月

【調査概要】

平成 29 年 8 月 29 日（火）及び 9 月 15 日（金）の北朝鮮による我が国の上空を通過する弾道ミサイルの発射に際しては、全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用して、国民の皆様へ情報提供したところです。今回、今後の国民保護施策の参考とさせていただくため、Jアラートにより弾道ミサイルに関する情報伝達が行われた 12 道県に居住されている住民の方々を対象に、当日の意識・行動等についてインターネット調査を実施しました。

●調査方法

民間調査会社に委託し、Jアラートにより弾道ミサイルに関する情報伝達が行われた以下の 12 道県に住所を登録しているモニターから任意に抽出した方にアンケート調査にご協力をいただき、ご回答いただきました。

Jアラート送信地域：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、
栃木県、群馬県、新潟県、長野県

●調査実施時期と回答状況

○調査実施時期

8 月 29 日の事案：10 月 4 日～10 日

9 月 15 日の事案：10 月 16 日～24 日

○回答状況

8 月 29 日の事案：12 道県 5,000 人

9 月 15 日の事案：12 道県 5,000 人

<平成 29 年 8 月 29 日の事案の概要について>

5 : 5 8 頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射。

6 : 0 2 頃 発射情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難してください。」

6 : 0 5 頃～0 7 頃 ミサイルが北海道渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を太平洋へ向けて通過。

6 : 1 4 頃 通過情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル通過。ミサイル通過。先ほど、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

<平成 29 年 9 月 15 日の事案の概要について>

6 : 5 7 頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射。

7 : 0 0 頃 発射情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難して下さい。」

7 : 0 4 頃～0 6 頃 ミサイルが北海道渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を太平洋へ向けて通過。

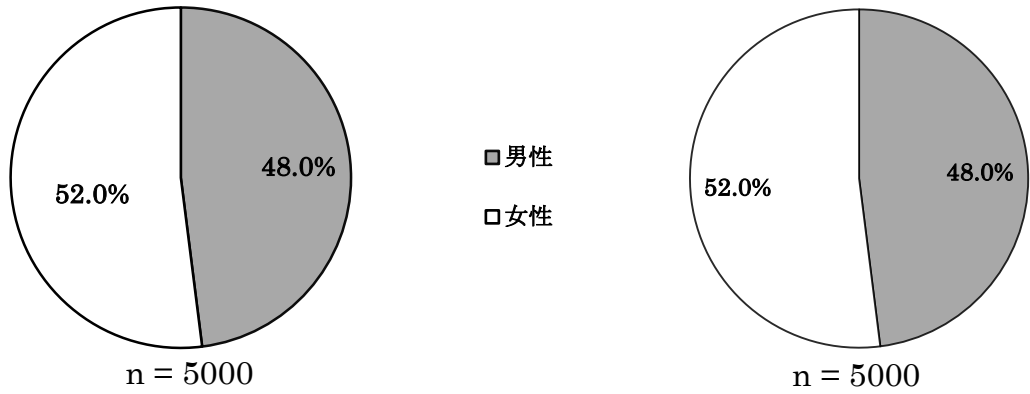
7 : 0 7 頃 通過情報が Jアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。
「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

【調査結果】

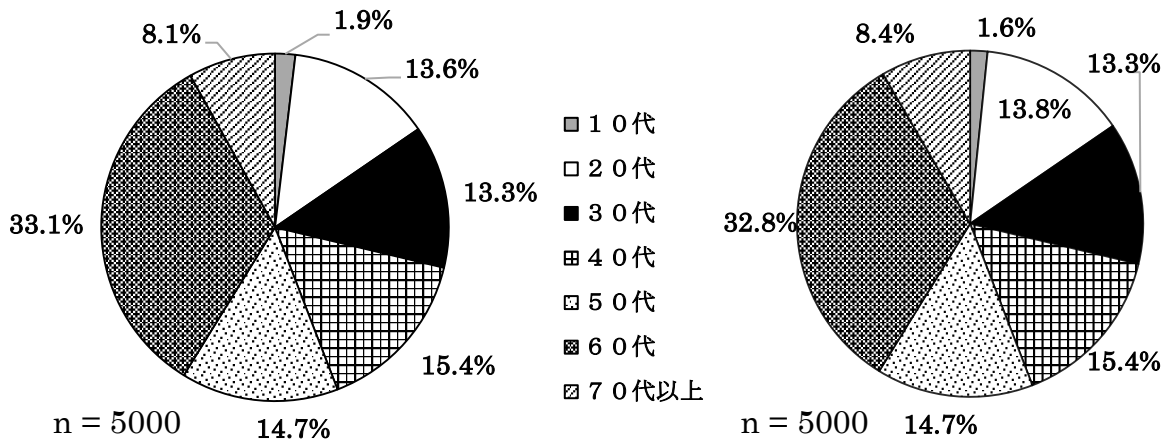
〔 ・円グラフについては、左が8月29日の事案、右が9月15日の事案のアンケート結果です。
 ・棒グラフについては、上段が8月29日の事案、下段が9月15日の事案のアンケート結果です。〕

1 アンケート回答者について[問1]

性別

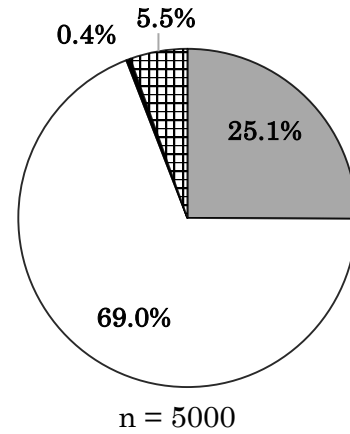
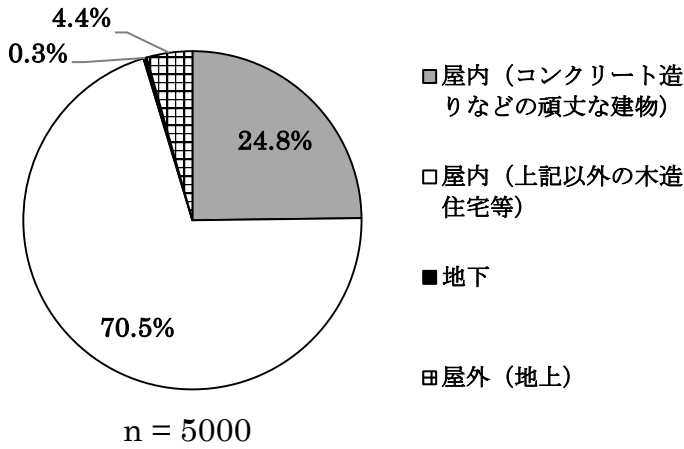


年齢

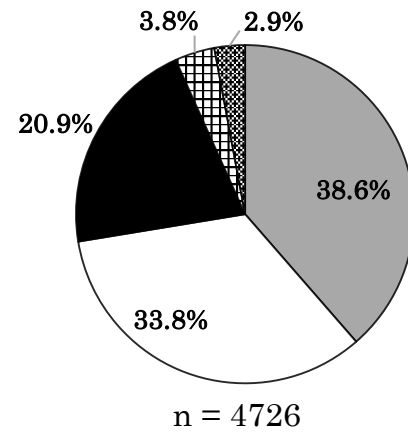
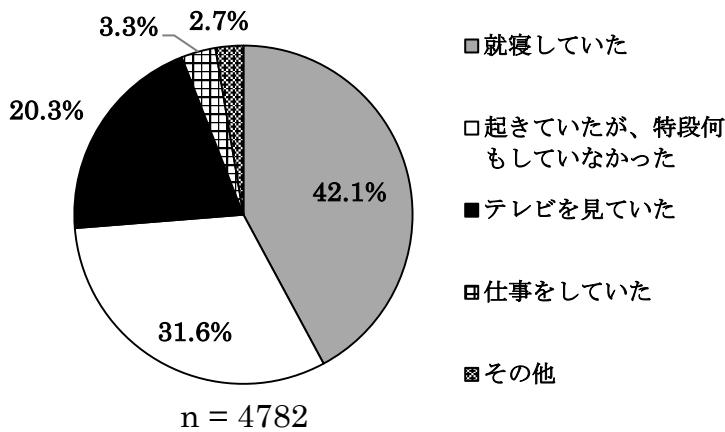


2 ミサイル発射情報が伝達された時の状況を教えてください。

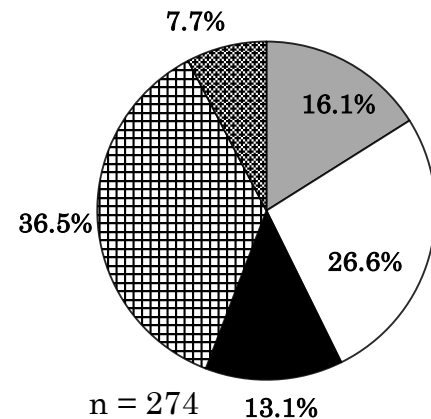
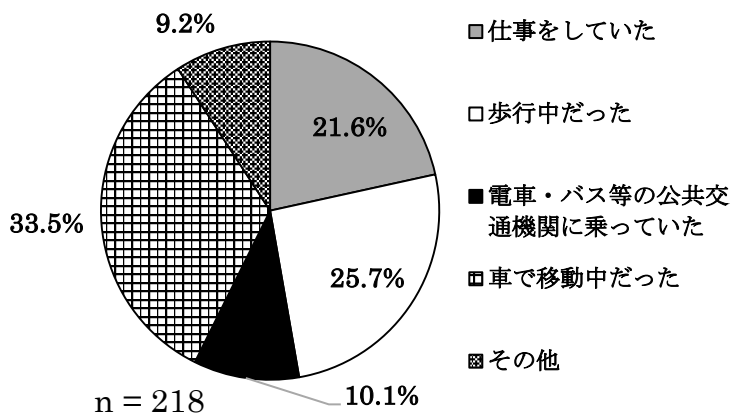
(1) どちらにいらっしゃいましたか？[問2]



(2) (屋内・地下にいた方) そのとき、何をしていましたか？



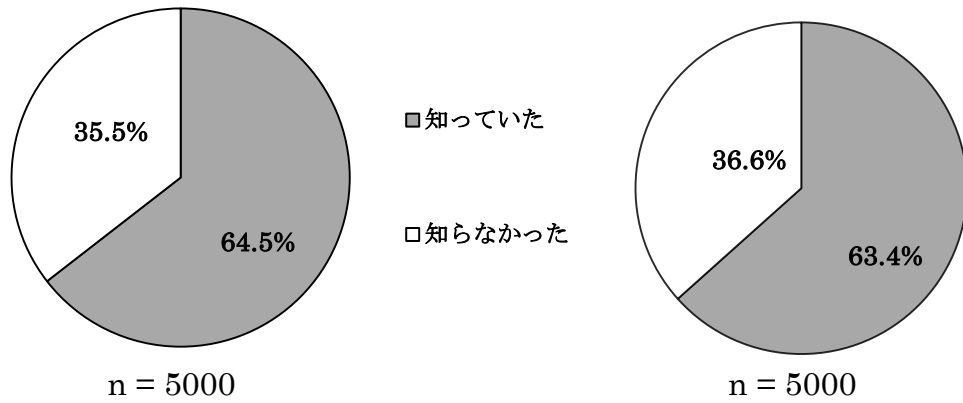
(3) (屋外にいた方) そのとき、何をしていましたか？



ミサイル発射情報伝達時にいた場所については、「屋内」及び「地下」と回答した方が最も多く、両事案ともに90%台半ばであった。また、「就寝していた」と回答した方は、40%前後であった。

3 ミサイル発射情報について

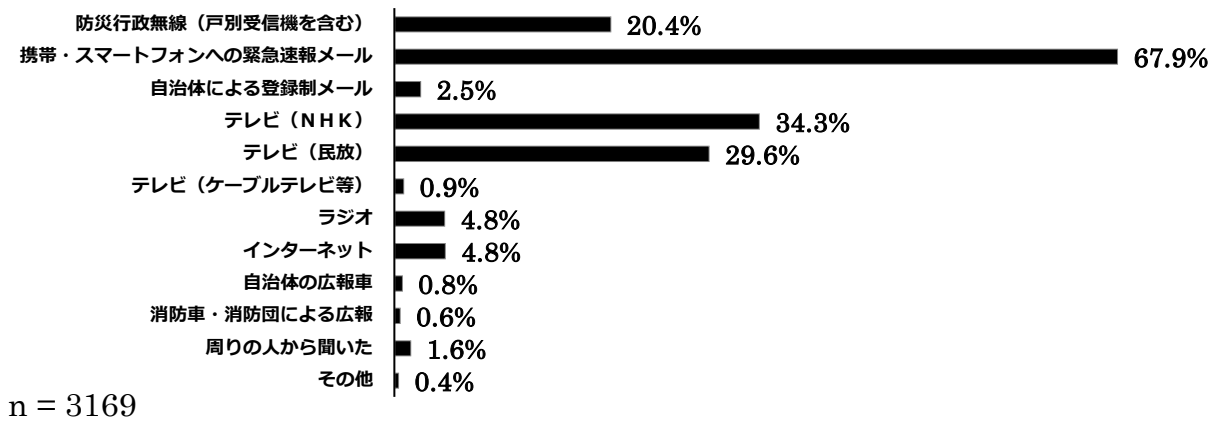
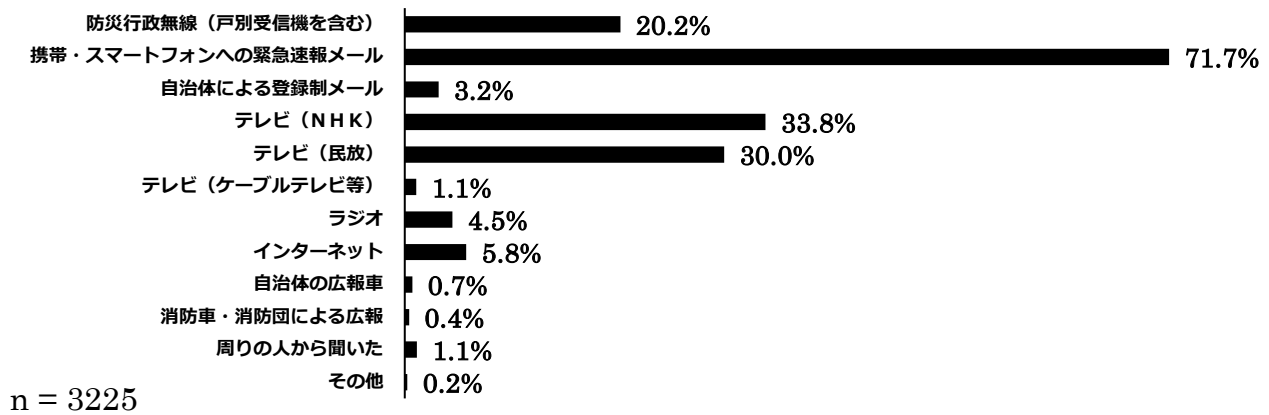
北朝鮮からのミサイル発射情報が伝達されましたが、その後、ミサイル通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知っていましたか？ [問3]



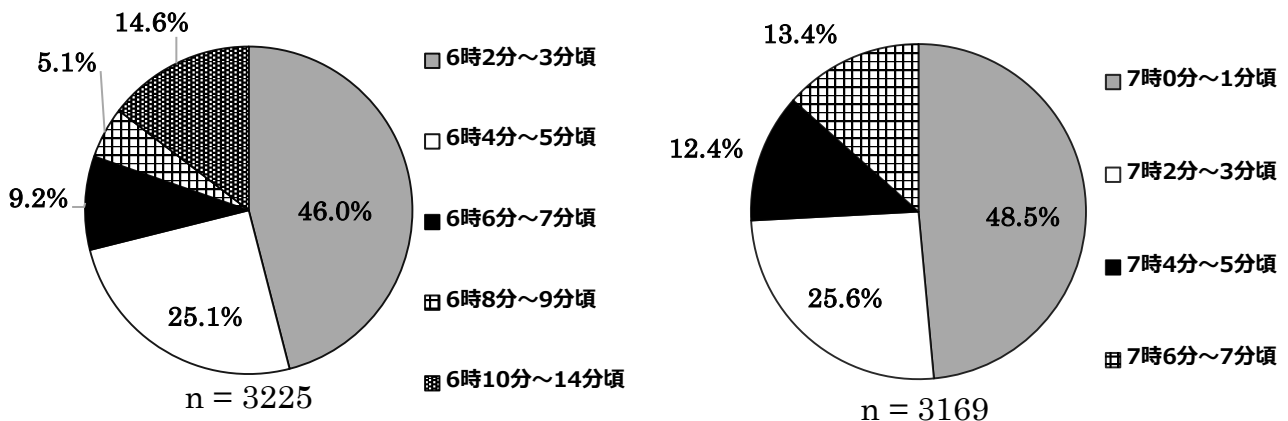
ミサイル発射情報については、伝達されてから通過情報が伝達されるまでの間に発射されたことを「知っていた」と回答した方が、8月29日の事案は60%台半ば、9月15日の事案は60%台前半であった。

4 どのような手段で、いつ、ミサイル発射について知りましたか？ [問4]

(1) どのような手段で知りましたか？（複数回答）



(2) いつ知りましたか？



ミサイルの発射を知った手段については、両事案ともに「携帯・スマートフォンへの緊急速報メール」と答えた方が最も多く、8月29日の事案は70%台前半、9月15日の事案は60%台後半であった。次いで「テレビ（NHK）」と回答した方が、それぞれ30%台前半、30%台半ばであった。また、「防災行政無線（戸別受信機を含む）」と回答した方は、両事案ともに約20%であった。

知った時間については、発射情報から約3分以内と回答した方（8月29日の事案は「6時2分頃～3

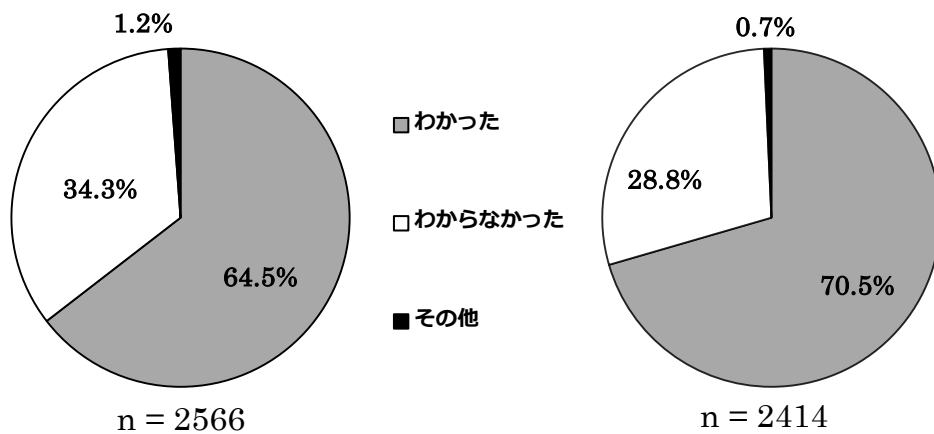
分頃」及び「6時4分頃～5分頃」を合算したもの、9月15日の事案は「7時0分頃～1分頃」及び「7時2分頃～3分頃」を合算したもの)が、8月29日の事案は70%台前半、9月15日の事案は70%台半ばであった。

なお、ミサイルが日本の上空にさしかかる(8月29日の事案は6時5分頃、9月15日の事案は7時4分頃)までに発射されたことを知った方は、8月29日の事案は50%台後半(※)、9月15日の事案は70%台半ばであった。

※…「6時4分～5分頃」の方は半分をカウント。

5 伝達された発射情報のメッセージについて

メッセージを聞いて、何をしたらよいかわかりましたか？[問5]

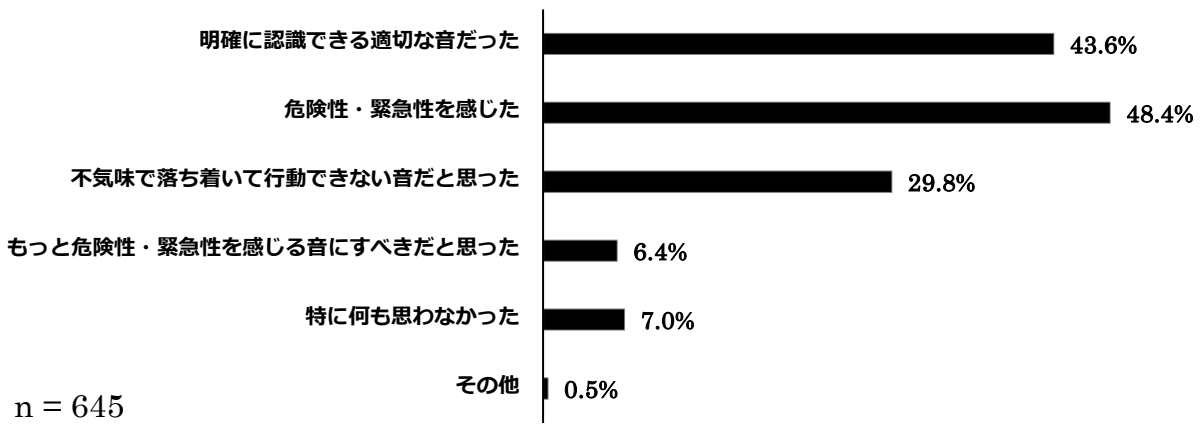
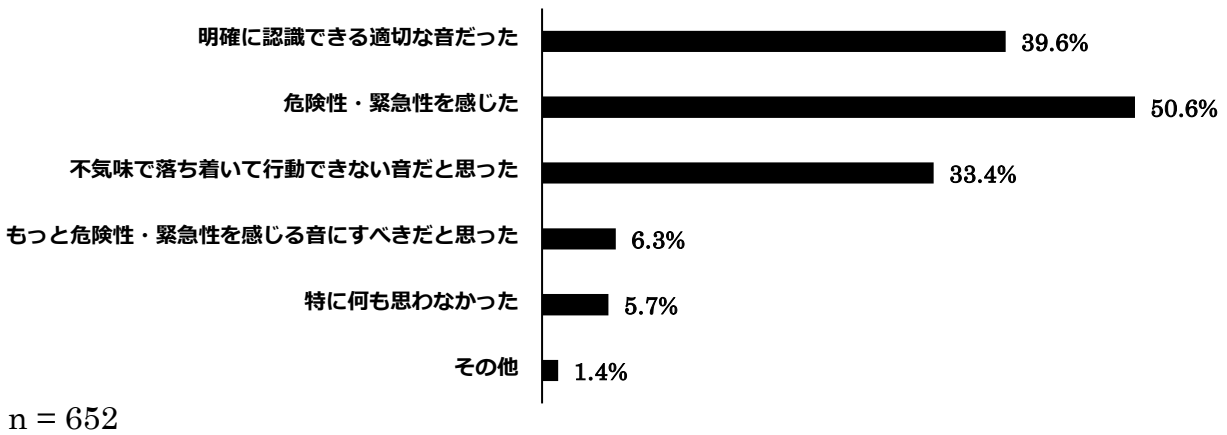


「わかった」と回答した方が、8月29日の事案は60%台半ばであったが、9月15日の事案は6ポイント増加し70%台前半であった。一方、「わからなかった」と回答した方は、8月29日の事案に比べ9月15日の事案においては6ポイント程度減少し、20%台後半であった。

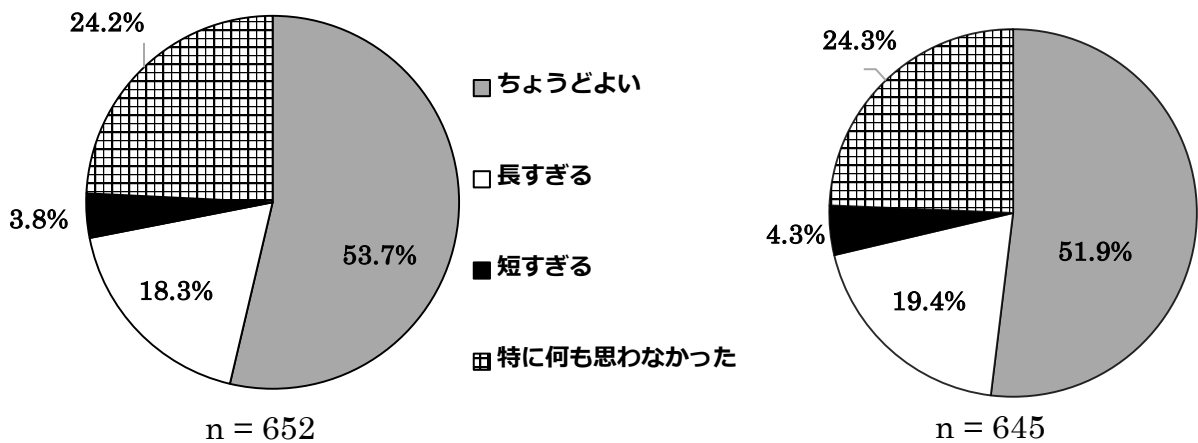
6 防災行政無線について

防災行政無線を聞かれた方に伺います。[問6]

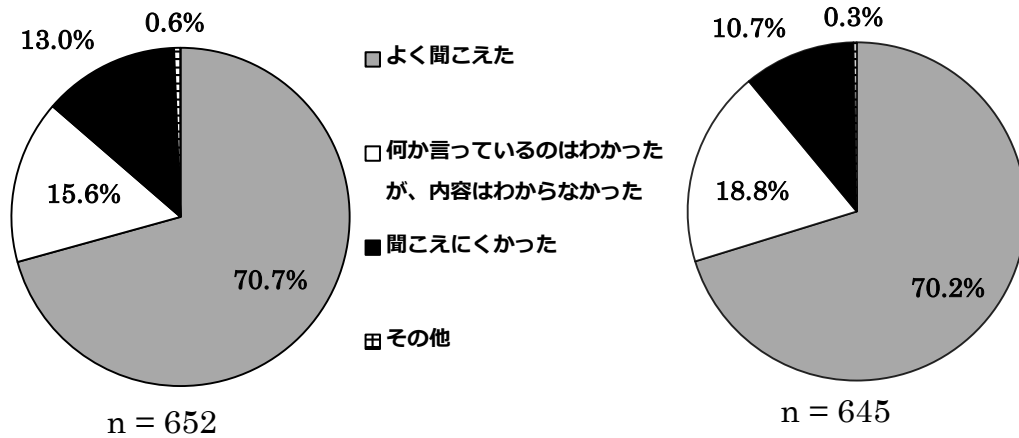
(1) サイレン音の音色について、どう思いましたか？（複数回答）



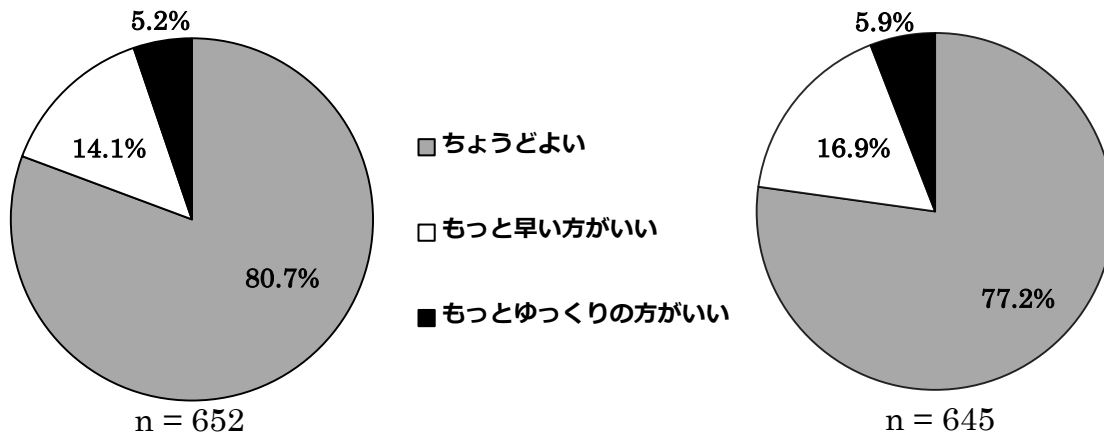
(2) サイレン音の流れる長さについて、どう思いましたか？



(3) 音声は聞き取れましたか？



(4) 音声の速度はどうでしたか？

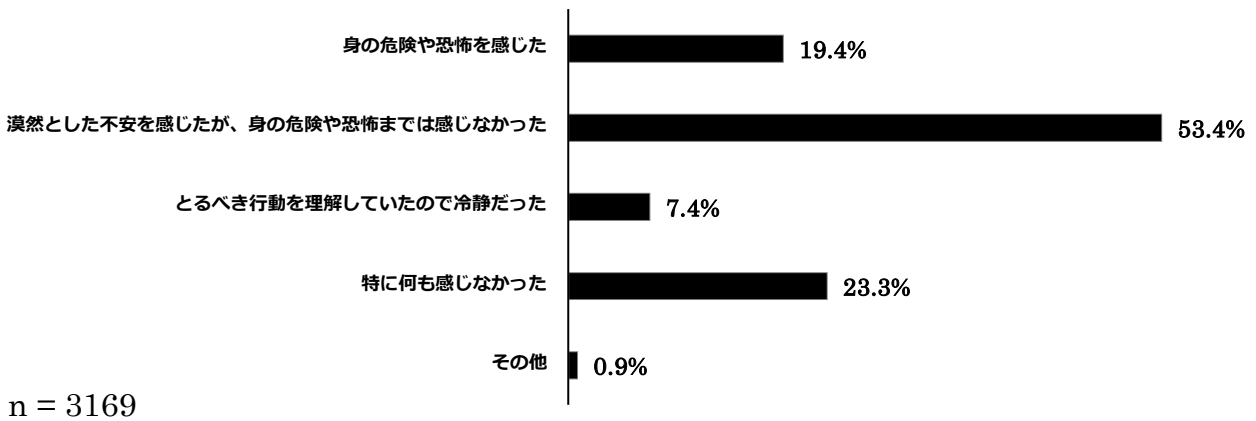
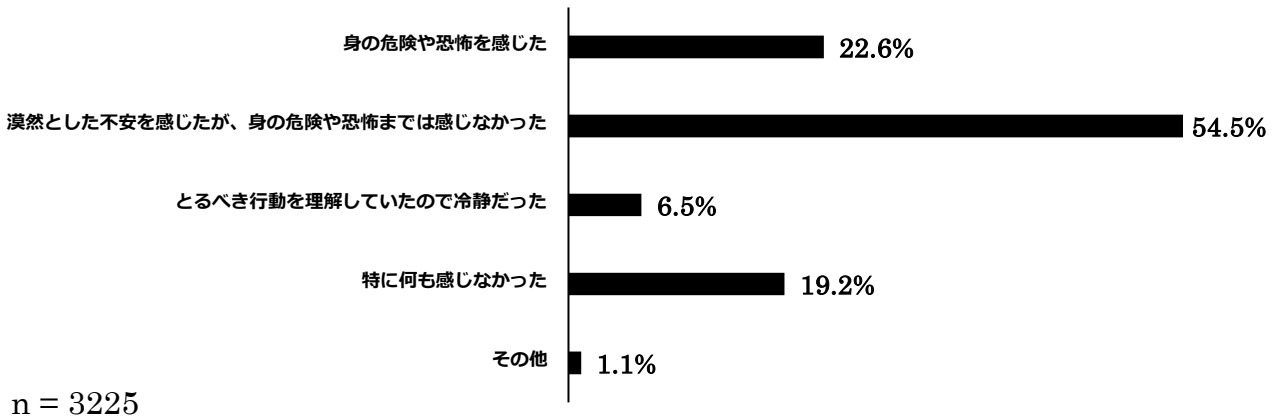


防災行政無線のサイレン音については、「危険性・緊急性を感じた」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は50%台前半、9月15日の事案は40%台後半であった。次いで「明確に認識できる適切な音だった」と回答した方が、8月29日の事案は約40%であったが、9月15日の事案は40%台前半に4ポイント増加した。また、「不気味で落ち着いて行動できない音だと思った」と回答した方が、8月29日の事案は30%台前半であったが、9月15日の事案は約30%に4ポイント程度減少した。

音声については、「よく聞こえた」と回答した方が、8月29日の事案は70%台前半であり、9月15日の事案は約70%であった。また、速度については、「ちょうどよい」と回答した方が、それぞれ80%台前半、70%台後半であった。

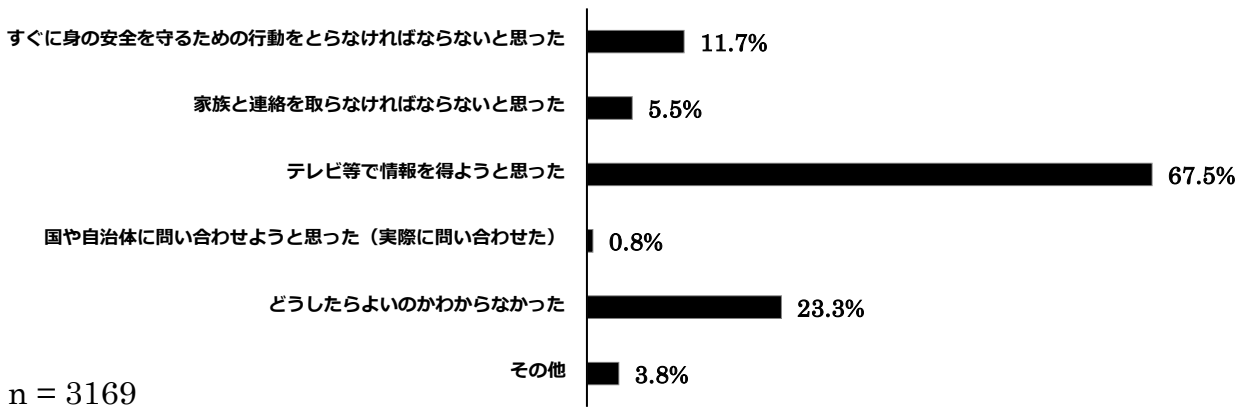
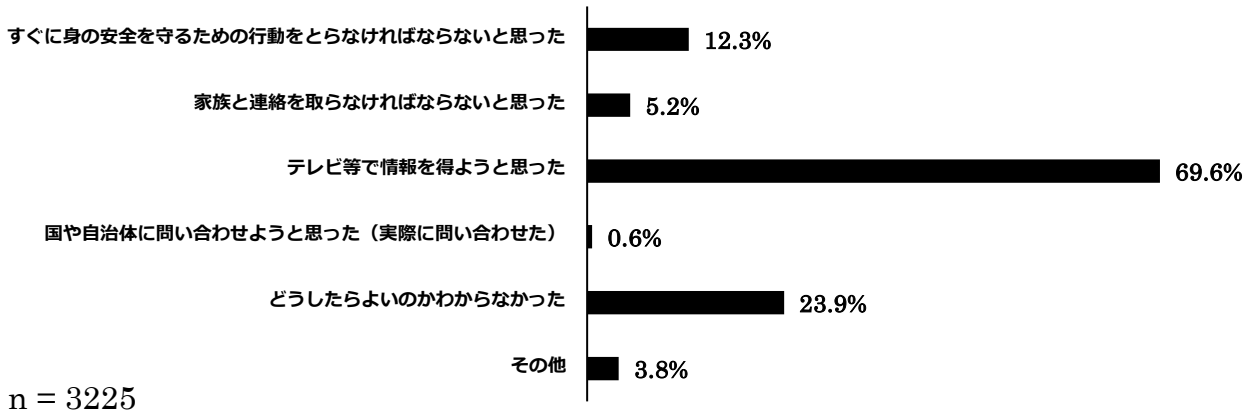
7 ミサイル発射を知った際どう思いましたか？[問7]

(1) 第一印象について（複数回答）



ミサイル発射を知った第一印象については、「漠然とした不安を感じたが、身の危険や恐怖までは感じなかった」と回答した方が、8月29日の事案は50%台半ば、9月15日の事案は50%台前半と最も多かった。次いで多かったのは、8月29日の事案は「身の危険や恐怖を感じた」で、9月15日の事案は「特に何も感じなかった」であり、ともに20%台前半であった。

(2) その後について (複数回答)

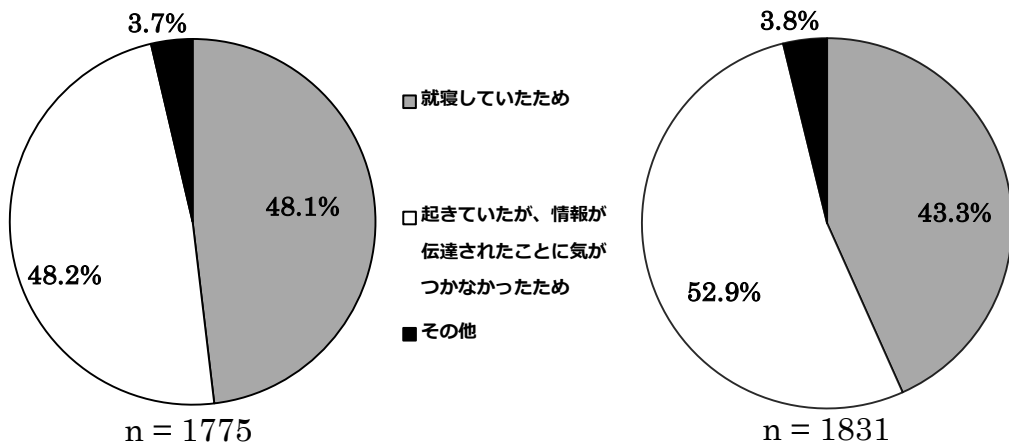


ミサイルの発射を知った後の行動については、「テレビ等で情報を得ようと思った」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は約70%、9月15日の事案は60%台後半であった。また、「すぐに身の安全を守るための行動をとらなければならないと思った」と回答した方は、ともに10%台前半であった。

一方、「どうしたらよいのかわからなかった」と回答した方が、ともに20%台前半であった。

8 ミサイル発射情報の伝達から、通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知らなかった方について

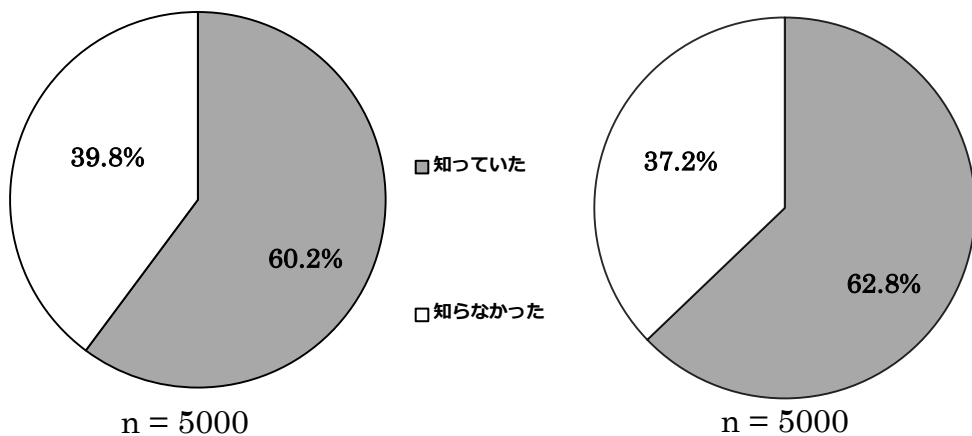
なぜミサイルが発射されたことを知らなかったのですか？[問8]



ミサイルが発射されたことを知らなかった理由については、「起きていたが、情報が伝達されたことに気がつかなかった」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は40%台後半であったが、9月15日の事案は50%台前半へと5ポイント程度増加した。

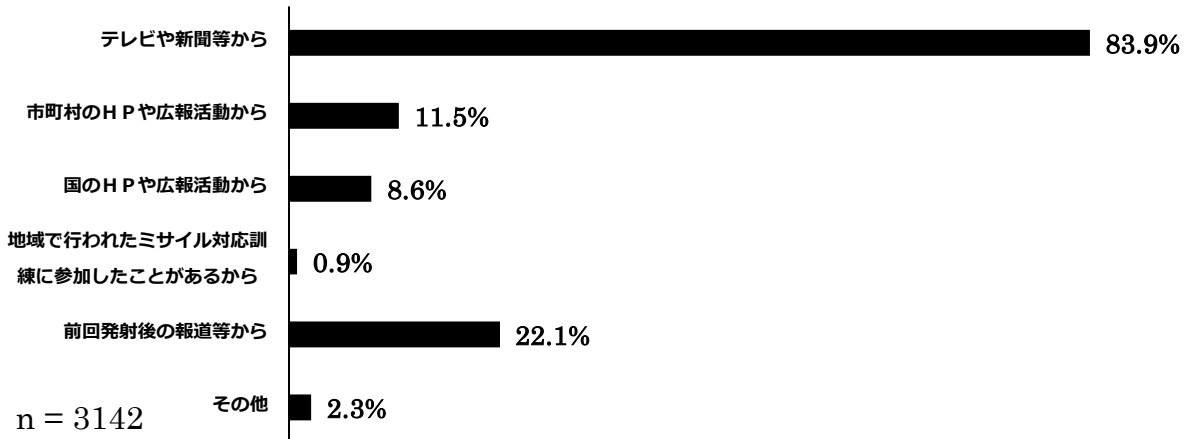
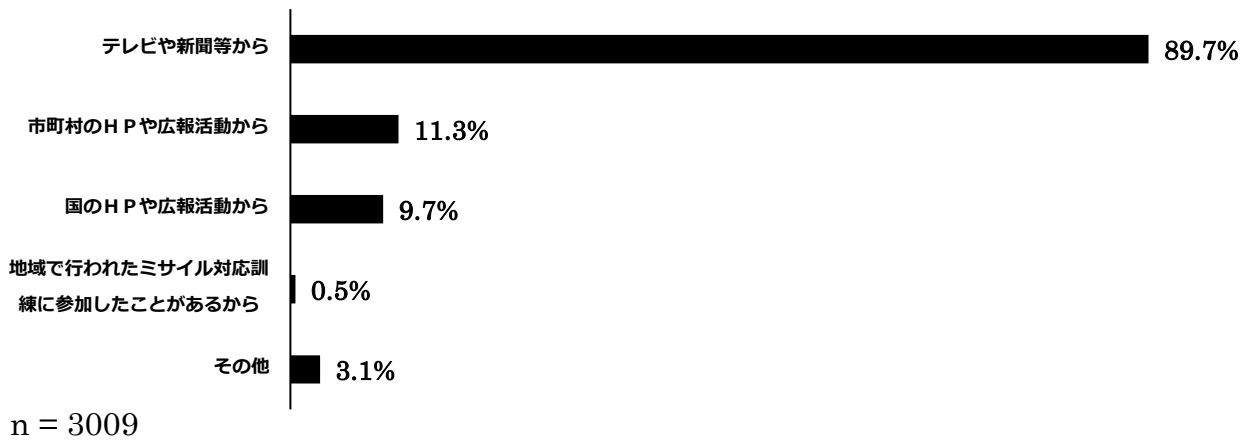
9 ミサイル発射情報の伝達を受けての避難等について

弾道ミサイル落下に備えてとるべき身の安全を守るための行動をご存知でしたか？[問9]



身の安全を守るためにとるべき行動については、「知っていた」と回答した方が、8月29日の事案は約60%であったが、9月15日の事案は60%台前半へと3ポイント程度増加した。

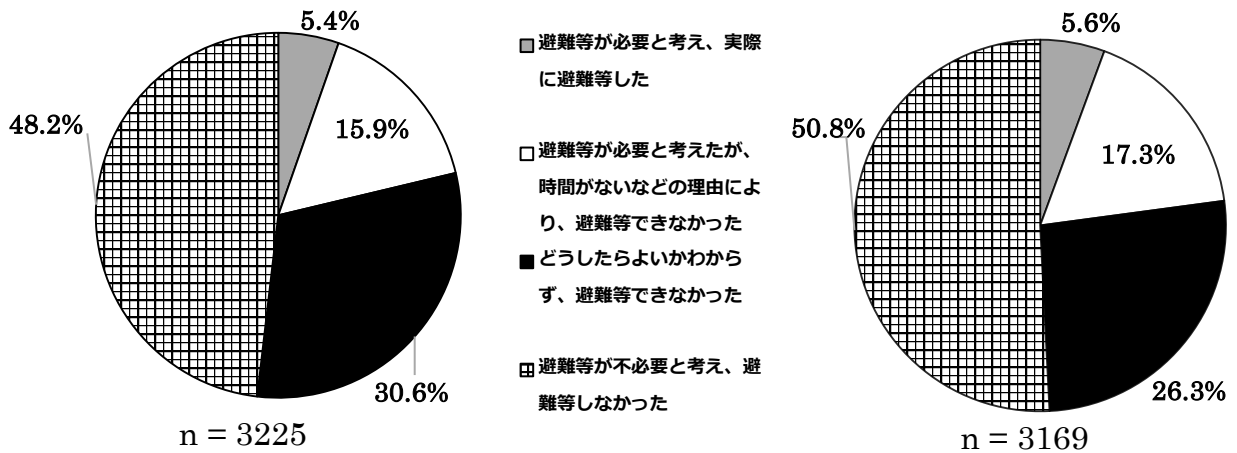
10 とるべき身の安全を守るための行動を知っていた方について
なぜご存知でしたか？（複数回答）[問10]



身の安全を守るためにとるべき行動については、両事案ともに「テレビや新聞等から」知ったと回答した方が最も多く、8月29日の事案は約90%、9月15日の事案は80%台前半であった。次いで「市町村のHPや広報活動から」と回答した方が、ともに10%台前半であった。加えて、9月15日の事案においては、「前回発射後の報道等から」と回答した方が20%台前半であった。

1.1 ミサイル発射を知った後の行動について

避難等（その時にいた窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所にとどまることも含む。）をしましたか？[問 11]

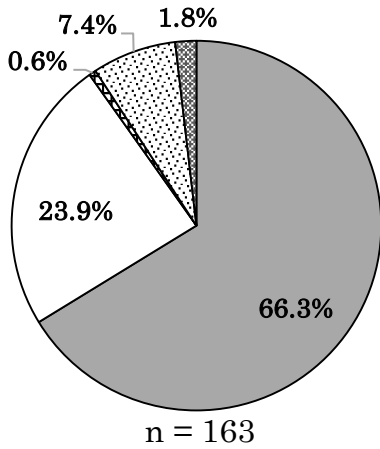


ミサイル発射を知った後の行動については、「避難等が必要と考えた」と回答した方が、両事案ともに20%台前半であった。

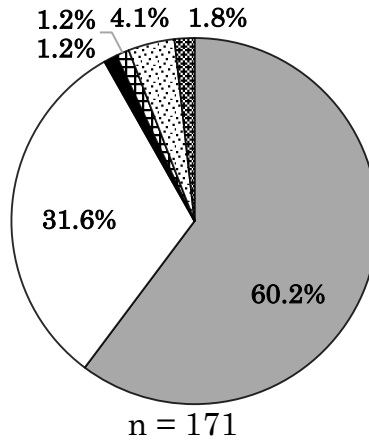
また、「避難等が不必要と考え、避難等しなかった」と回答した方は、40%台後半から50%台前半へと3ポイント程度増加した。一方、「どうしたらよいかわからず、避難等できなかった」と回答した方は、8月29日の事案は30%台前半であったが、9月15日の事案は20%台後半へと4ポイント程度減少した。

12 どのように避難しましたか？[問 12]

屋内・地下にいた方

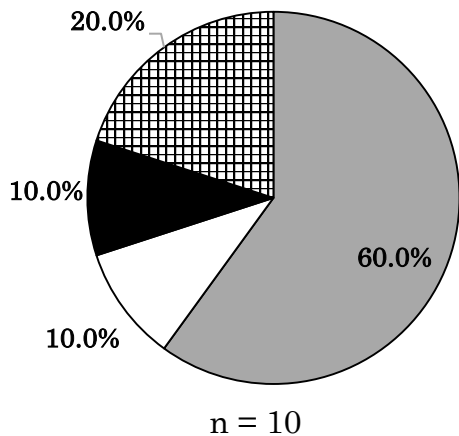


- そのときにいた場所から窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した
- そのときにいた場所（窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所）にとどまった
- そのときにいた建物から近くの頑丈な別の建物へ移動した
- そのときにいた場所（窓から近い場所）にとどまった
- その他

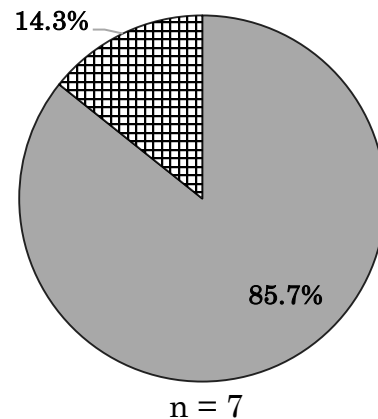


- そのときにいた場所から窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した
- そのときにいた場所（窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所）にとどまった
- そのときにいた建物から近くの地下へ移動した
- そのときにいた建物から近くの頑丈な別の建物へ移動した
- そのときにいた場所（窓から近い場所）にとどまった
- その他

屋外にいた方



- 近くの頑丈な建物へ移動した
- 近くの地下へ移動した
- 物陰に身を隠した
- その他

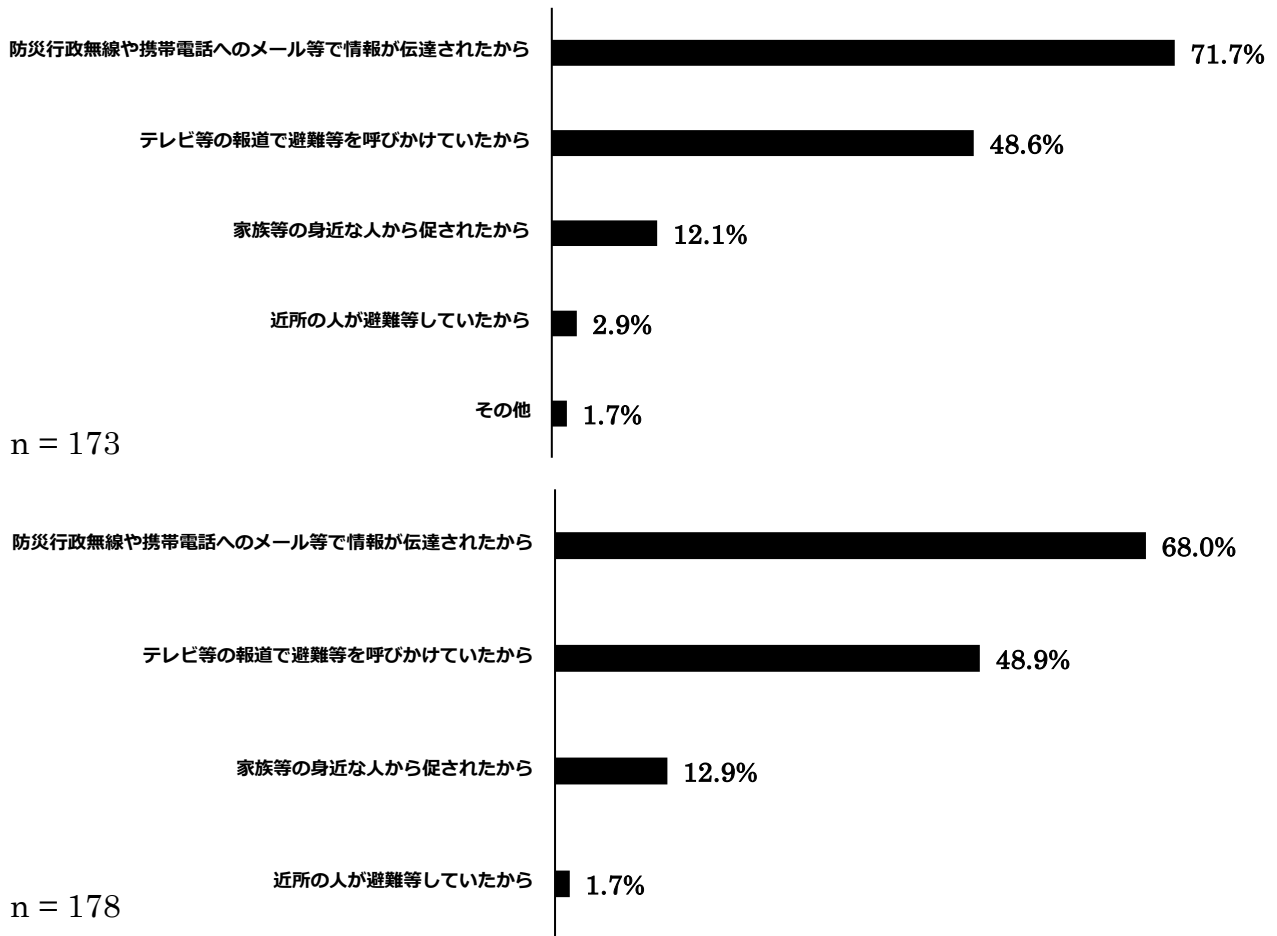


- 近くの頑丈な建物へ移動した
- その他

屋内・地下にいた方の避難行動については、「そのときにいた場所から窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した」及び「そのときにいた場所（窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所）にとどまった」と回答した方が、8月29日の事案は約90%、9月15日の事案は90%台前半であった。

1.3 避難等したきっかけについて

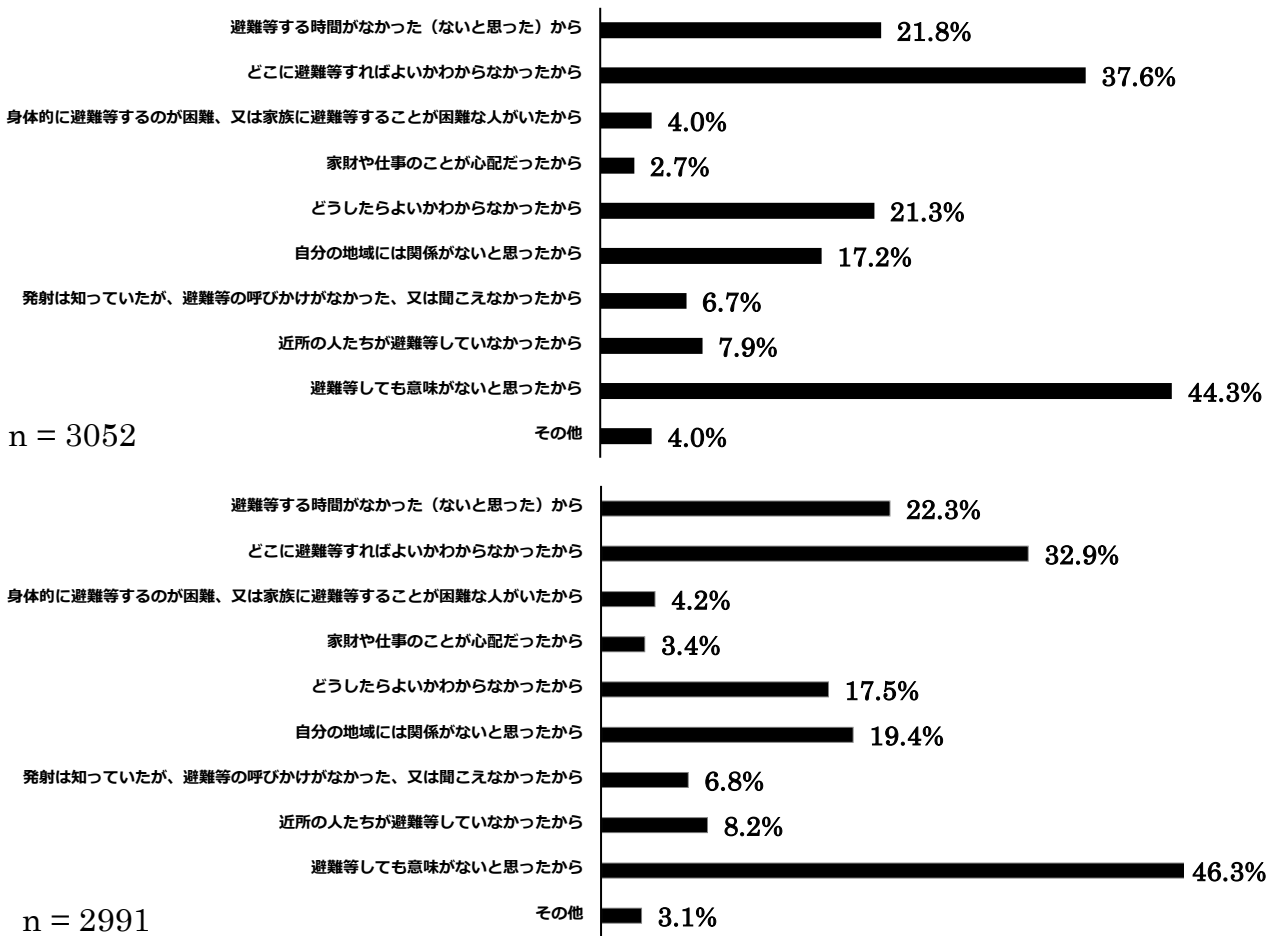
避難等したきっかけは何でしたか？（複数回答）[問 13]



避難等したきっかけについては、「防災行政無線や携帯電話へのメール等で情報が伝達されたから」と回答した方が最も多く、8月29日は70%台前半、9月15日は60%台後半であった。次いで「テレビ等の報道で避難等呼びかけていたから」と回答した方が、両事案ともに40%台後半であった。

1.4 避難行動をとらなかったことについて

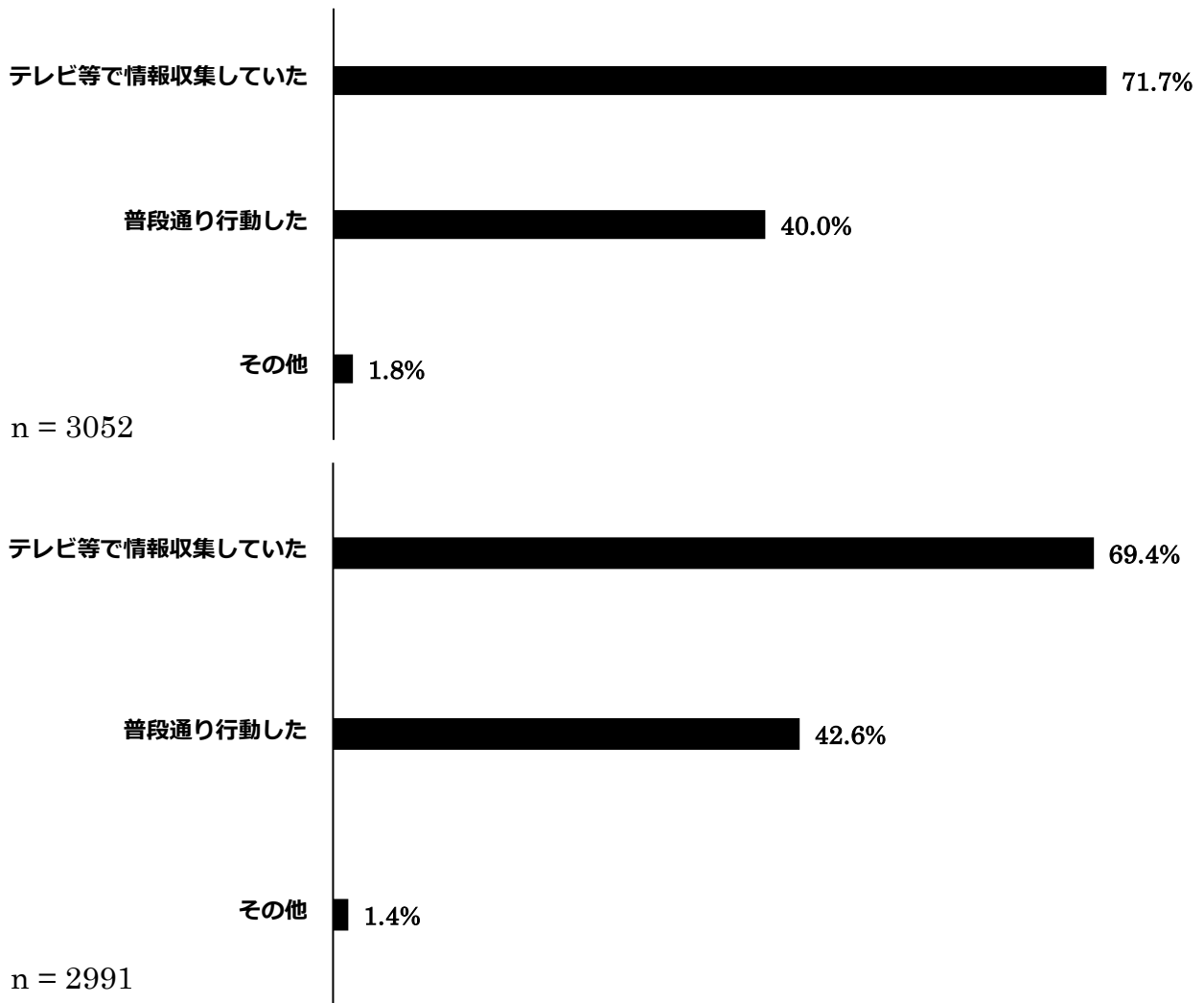
(1) なぜ避難できなかった(しなかった)のですか？(複数回答) [問 14]



避難行動を取らなかった理由については、「避難等しても意味がないと思ったから」が最も多く、8月29日の事案は40%台半ばであったが、9月15日の事案は40%台後半へと2ポイント増加した。次いで「どこに避難等すればよいかわからなかったから」と回答した方が、30%台後半であったが30%台前半に5ポイント程度減少した。

また、「自分の地域には関係がないと思ったから」と回答した方が2ポイント程度増加したものの、「どうしたらよいかわからなかったから」と回答した方が、20%台前半であったが10%台後半へと4ポイント程度減少した。

(2) 避難等をせずに何をしていましたか？（複数回答） [問 15]



避難をせずに行っていた行動については、両事案ともに「テレビ等で情報収集していた」と回答した方が最も多く、70%前後であった。

1.5 ミサイル通過情報の伝達について

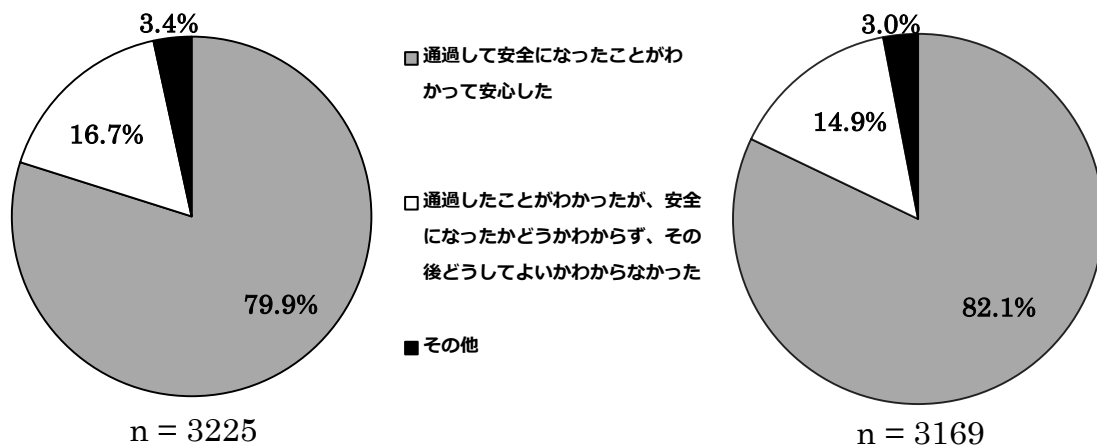
伝達された通過情報のメッセージについてどのように受け止めましたか？[問16]

<8月29日に伝達された通過情報のメッセージ>

「ミサイル通過。ミサイル通過。先ほど、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

<9月15日に伝達された通過情報のメッセージ>

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」



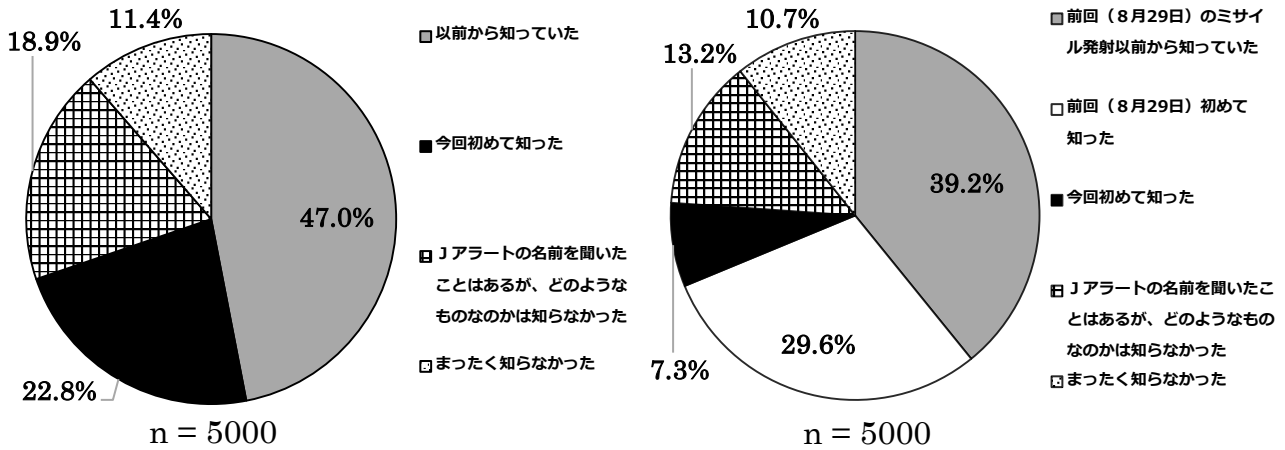
ミサイル通過情報については、通過情報を聞いて「通過して安全になったことがわかって安心した」と回答した方が、8月29日の事案は約80%であったが、9月15日の事案は80%台前半へと2ポイント程度増加した。また、「通過したことがわかったが、安全になったかどうかわからず、その後どうしてよいかわからなかった」と回答した方は、10%台後半であったが、10%台半ばへと2ポイント程度減少した。

1.6 Jアラートについて

(1) ミサイルが発射されると、Jアラートにより情報が伝達されることをご存知でしたか？ [問 17]

<Jアラート（全国瞬時警報システム）とは？>

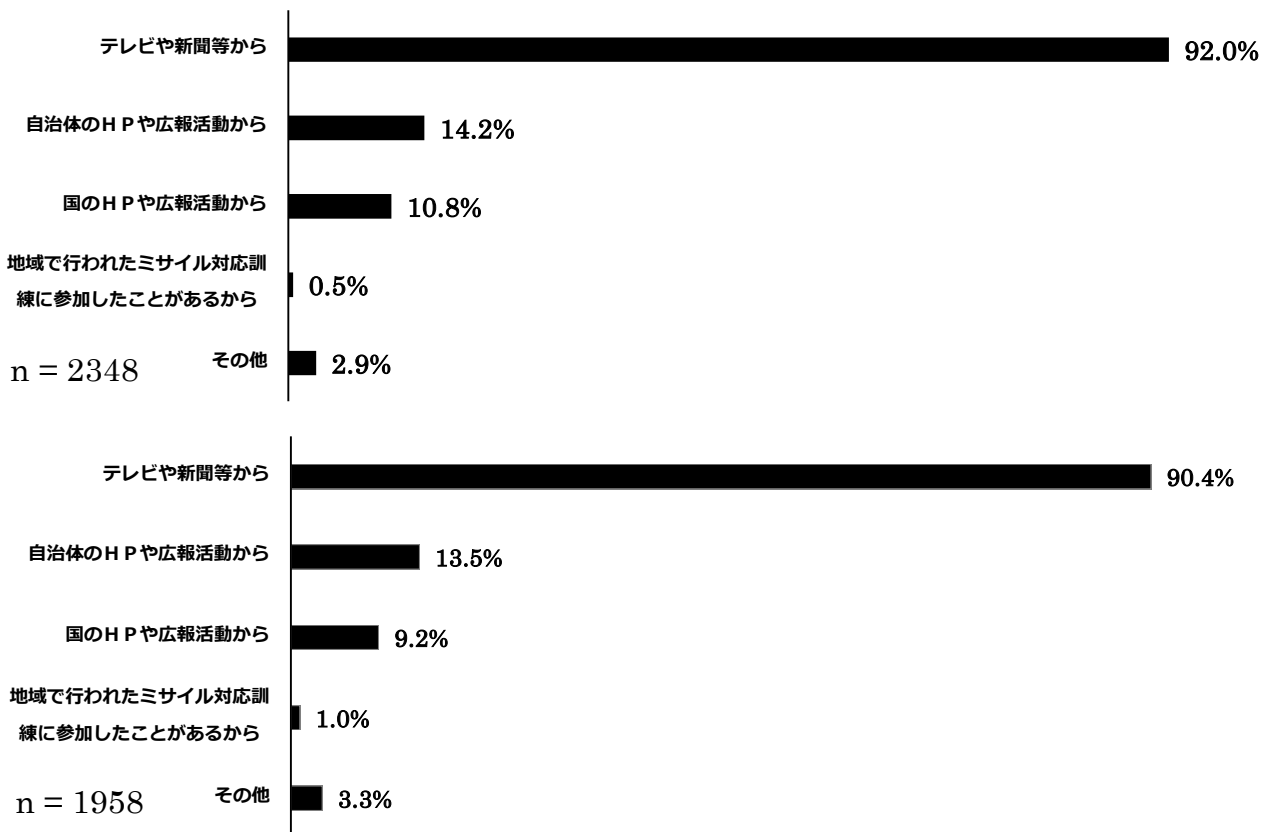
弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星及び地上回線を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村防災行政無線等を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム。



Jアラートについては、8月29日の発射時点では、「以前から知っていた」と回答した方が40%台後半であったが、9月15日の発射時点では、「前回（8月29日）のミサイル発射以前から知っていた」及び「前回（8月29日）初めて知った」と回答した方が60%台後半へと22ポイント程度増加した。

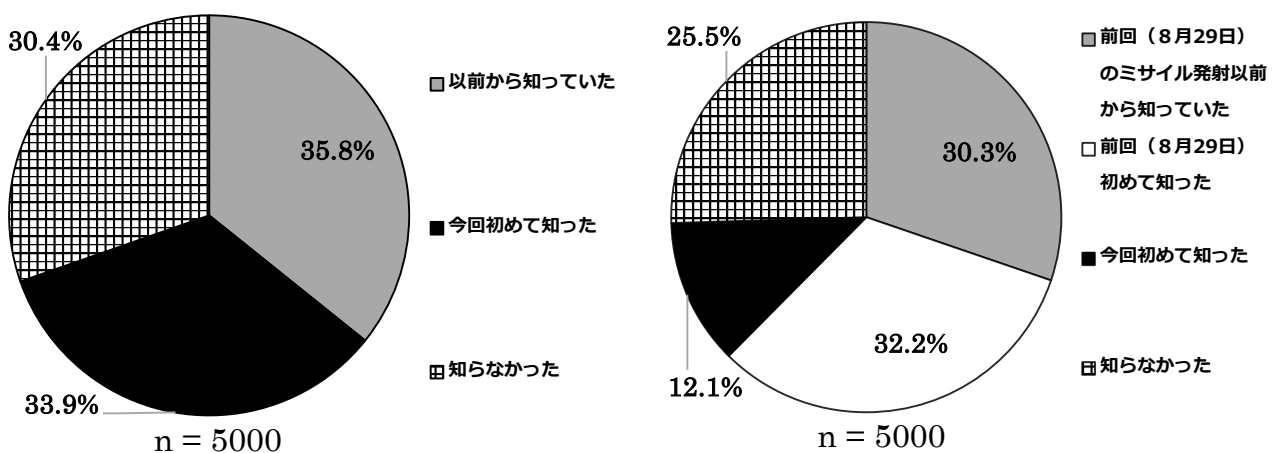
一方、「まったく知らなかった」と回答した方は、両事案ともに10%台前半であった。

(2) (以前から知っていた方) なぜご存知でしたか? (複数回答) [問 18]



Jアラートを知っていた理由については、「テレビや新聞等から」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は90%台前半、9月15日の事案は約90%であった。

(3) お住まいの地域でJアラートによる情報伝達がどのような手段(防災行政無線屋外スピーカー、自治体による登録制メール等)で行われるか、ご存知でしたか? [問 19]

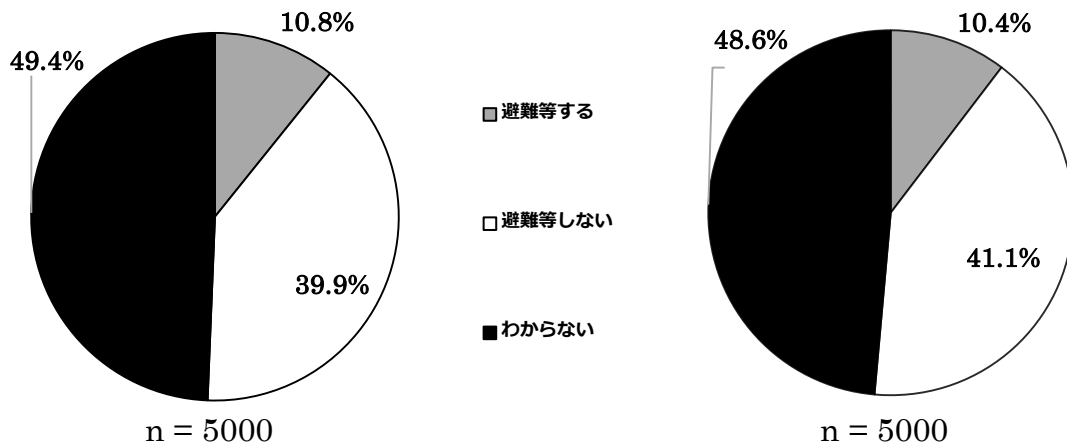


Jアラートによる情報の伝達手段については、8月29日の発射時点では、「以前から知っていた」と回答した方が30%台半ばであったが、9月15日の発射時点では、「前回（8月29日）のミサイル発射以前から知っていた」及び「前回（8月29日）初めて知った」と回答した方が60%台前半へと27ポイント程度増加した。

一方、「知らなかった」と回答した方は、8月29日の事案は約30%であったが、9月15日の事案は20%台半ばへと5ポイント程度減少した。

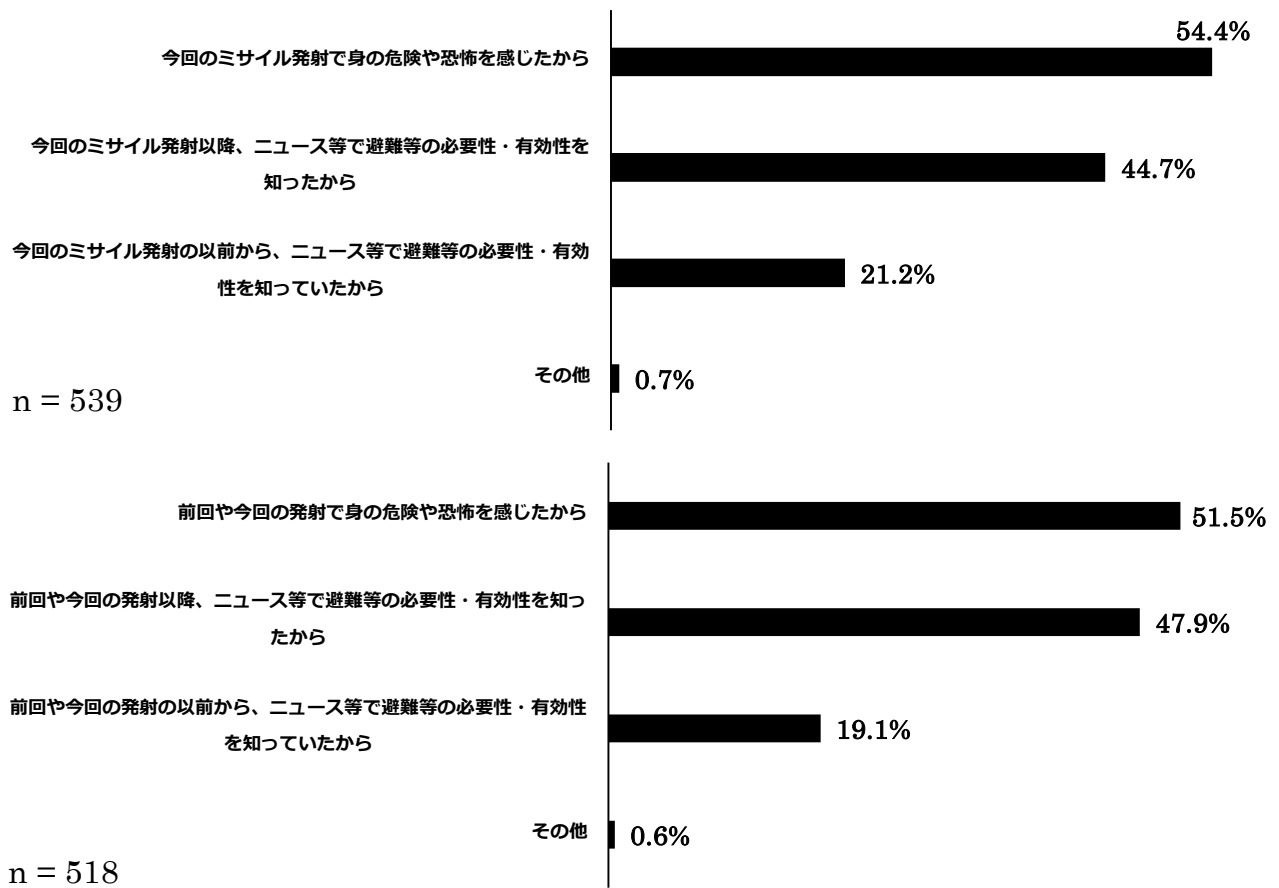
1.7 今後について

(1) 今後再びミサイル発射情報が伝達された際には避難等しますか？ [問 20]



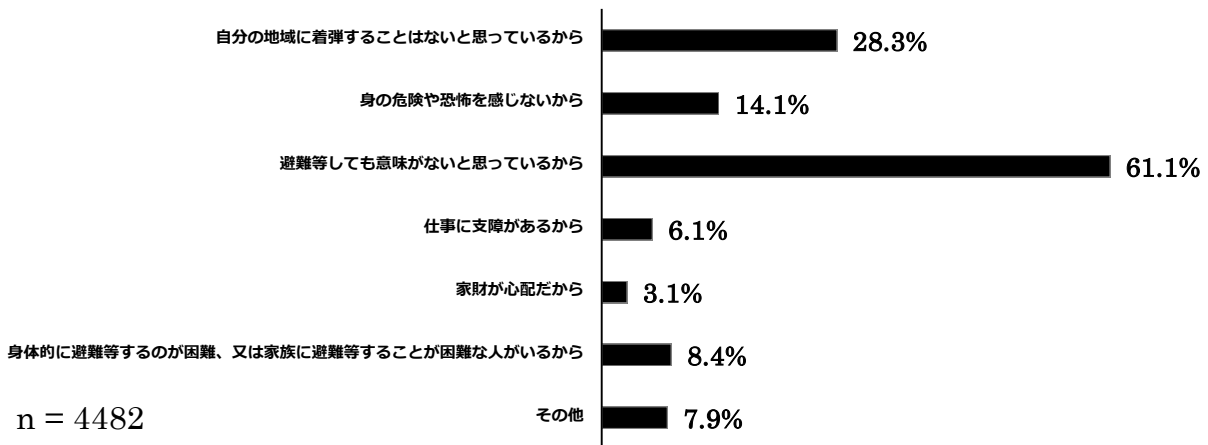
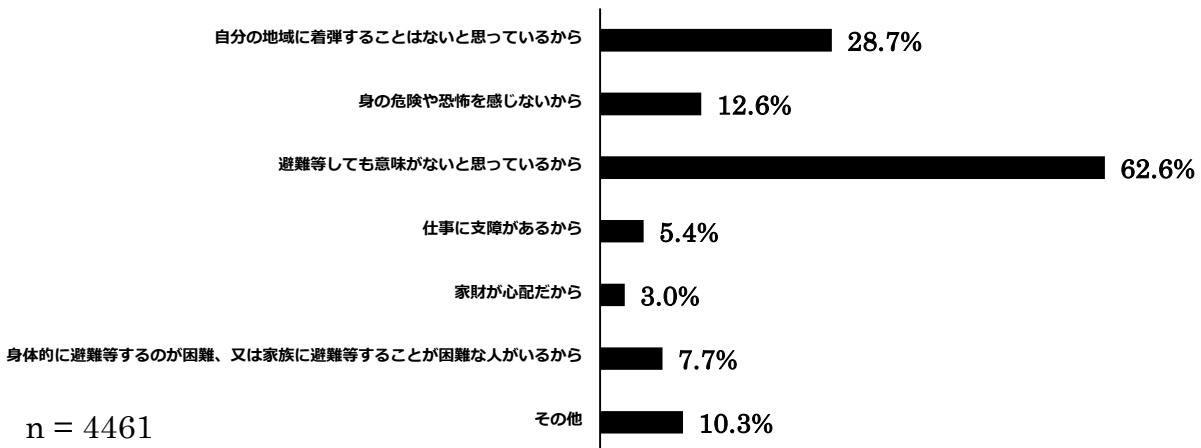
今後ミサイル発射情報が伝達された際の避難等については、「避難等する」と回答した方が、8月29日の事案は10%台前半、9月15日の事案は約10%でほとんど増減がなかった。一方、「避難等しない」と回答した方も、8月29日の事案は約40%、9月15日の事案は40%台前半でほとんど増減がなかった。

(2) (避難等すると回答した方) 避難しようと思われるのはなぜですか？ (複数回答) [問 21]



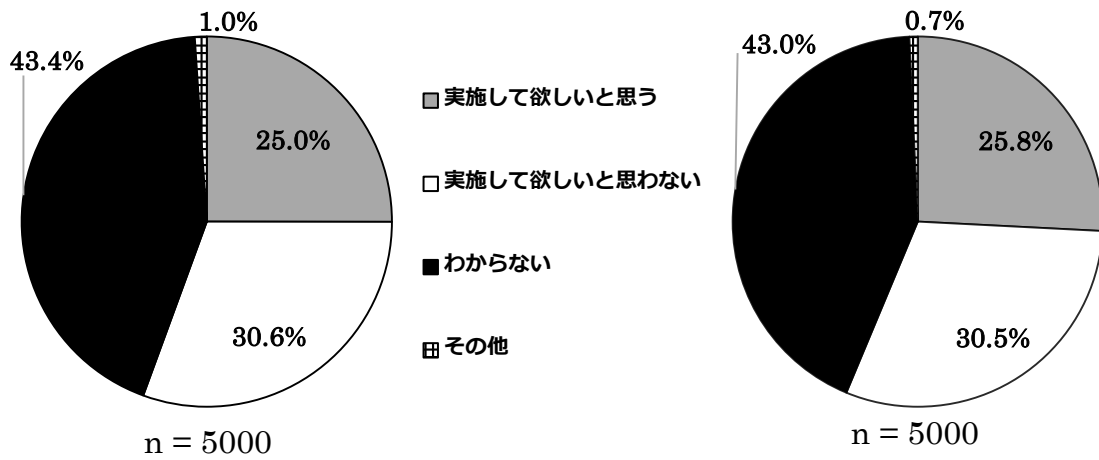
避難しようと思う理由については、「今回（前回や今回）のミサイル発射で恐怖を感じたから」と回答した方が最も多く、8月29日の事案は50%台半ば、9月15日の事案は50%台前半であった。次いで「今回（前回や今回）のミサイル発射以降、ニュース等で避難等の必要性・有効性を知ったから」と回答した方が、8月29日の事案は40%台半ば、9月15日の事案は40%台後半であった。

(3) (避難等しない、わからないと回答した方) 避難しようと思わないのはなぜですか? (複数回答) [問 22]



避難しようと思わない理由については、「避難等しても意味がないと思っているから」と回答した方が最も多く、両事案ともに60%台前半であった。次いで「自分の地域に着弾することはないと思っているから」と回答した方が、両事案ともに20%台後半であった。

(4) 今後、自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練を実施して欲しいと思いますか[問23]



自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練については、「実施して欲しいと思う」と回答した方が、両事案ともに 20%台半ば、「実施して欲しいと思わない」と回答した方が両事案ともに 30%台前半であった。また、「わからない」と回答した方が最も多く、両事案ともに 40%台前半であった。